

2014. 11. 21

# 霧島市公共建築物管理計画(仮称)

## 参考資料編(案)

霧島市公共建築管理計画（仮称）参考資料編  
目次

|    |                       |    |
|----|-----------------------|----|
| 1. | 公共施設の分類 .....         | 1  |
| 2. | 本市の公共施設に係る実態の整理 ..... | 2  |
| 3. | 市民アンケート調査の概要 .....    | 24 |
| 4. | 用語集 .....             | 48 |

## 1. 公共施設の分類

| 大分類              | 施設例  |
|------------------|--|
| 市民文化系施設          | 公民館、コミュニティセンター、共同利用施設など<br>(国分公民館、溝辺コミュニティセンター、働く婦人の家、霧島市民会館など)          |
| 社会教育系施設          | 図書館、博物館など<br>(国分図書館、メディアセンター、国分郷土館、隼人歴史民俗資料館など)                          |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 体育館、プール、競技場、野球場、温泉施設、観光施設など<br>(国分体育館、国分総合プール、溝辺ふれあい温泉センター、神話の里公園など)     |
| 産業系施設            | 国分じょうもん市場、福山ふくふくふれあい館、国分営農研修センター、溝辺お茶加工研修館など                             |
| 学校教育施設           | 小学校、中学校、高等学校、給食センターなど  |
| 子育て支援施設          | 児童クラブ、こどもセンター、こども発達サポートセンターなど  |
| 保健・福祉施設          | 保健センター、老人憩いの家、老人作業所など<br>(すこやか保健センター、持松校区老人憩いの家、高千穂校区老人作業所、国分総合福祉センターなど) |
| 行政系施設            | 庁舎、消防施設など<br>(国分庁舎、溝辺総合支所、福山サービスセンター、中央消防署、隼人分遣所など)                      |
| 公営住宅             | 名波ハイタウン、天降川団地、重久団地、高千穂団地など   |
| 公園               | 亀割公園、ふるさと水車公園、稻荷山公園など  |
| 供給処理施設           | 敷根清掃センター、南部し尿処理場、牧園・横川地区し尿処理場など  |
| その他              | 大隅横川駅、嘉例川駅舎、国分駅総合待合所、国分斎場など  |

※公共建築物管理計画(仮称)においては、これらの施設を、以下の6つの分類で整理している。

1. 行政系施設
2. 市民文化系施設
3. 学校教育施設
4. スポーツ・レクリエーション系施設
5. 公営住宅
6. その他(1.～5.に分類されない施設)

## 2. 本市の公共施設に係る実態の整理

### (1) 行政系施設

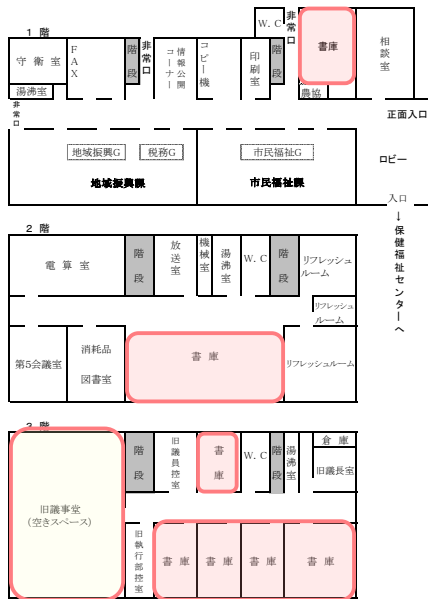
- 本市の行政施設は、本庁である国分庁舎、隼人庁舎の他、各地区に支所が配置されている。福山地区には、旧福山総合支所を利用した福山市民サービスセンターが配置されている。



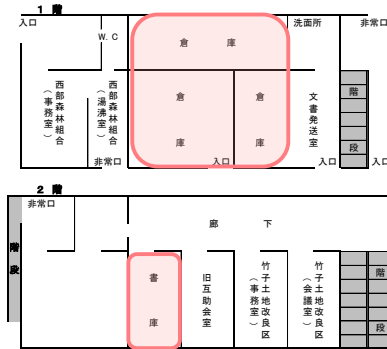
| 施設名称   | 現状  |
|--------|---|
| 国分庁舎   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 旧国分市の庁舎として、人口 7 万人規模を想定して建設されたことから、合併当初よりスペース面での絶対的な不足が指摘されている。</li> <li>✓ 合併後の国分庁舎への業務集約等が進んでいることから庁舎機能の拡充が必要とされており、本年度より庁舎増築の基礎設計に着手している。</li> </ul> |
| 溝辺総合支所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本館(築 35 年)、別館(築 54 年)のほか、健康福祉センター(築 20 年)が併設されている。</li> <li>✓ 合併等による空きスペースが発生している。</li> <li>✓ 教育委員会のみ、みそめ館に配置されている。</li> </ul>                         |
| 横川総合支所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本庁方式移行後の業務規模を見据え、2013 年に整備された(空きペース等は無い)。</li> <li>✓ 教育委員会のみ、横川公民館に配置されている。</li> </ul>   |
| 牧園総合支所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 牧園小・中、商店、銀行等が立地する牧園地区の中心地から離れた高台に位置し、アクセス利便性に課題を抱えている。</li> <li>✓ 合併等による空きスペースが発生している</li> </ul>   |
| 霧島総合支所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 合併等による空きスペースが発生しており、その利活用に係る検討が地域住民により進められている。</li> </ul>  |
| 隼人庁舎   | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 現在空きスペース等は生じていないが、庁舎周辺にはすこやか保健センター、旧保健センター、隼人公民館、隼人農村環境改善センター、隼人図書館などが立地している。</li> </ul>   |

| 施設名称         | 現状  |
|--------------|---|
| 福山総合支所       | ✓ 福山総合支所、福山市民サービスセンターにより構成される。  |
| 福山市民サービスセンター | ✓ 福山市民サービスセンターはかつて福山総合支所として活用された施設を引き続き活用しているが、一日平均利用者数は少ない。また、斜面に立地しており、災害時の危険性や高齢者等のアクセスに課題が指摘されている。<br>隣接する公民館別館は耐震性に課題があるため閉鎖されている。 |

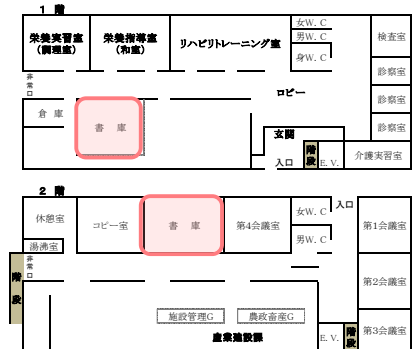
溝辺総合庁舎(本館)



溝辺総合庁舎(別館)



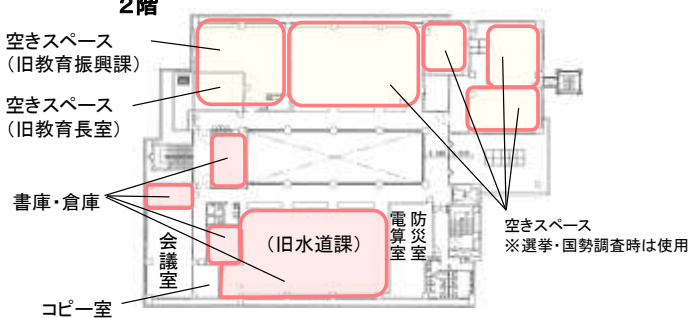
溝辺保健福祉センター



1階



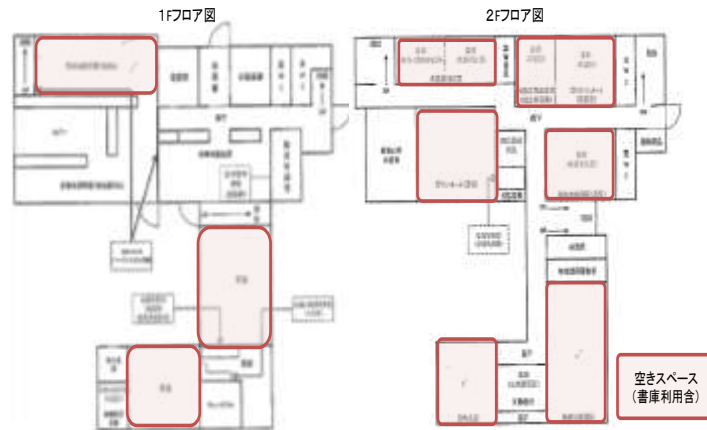
2階



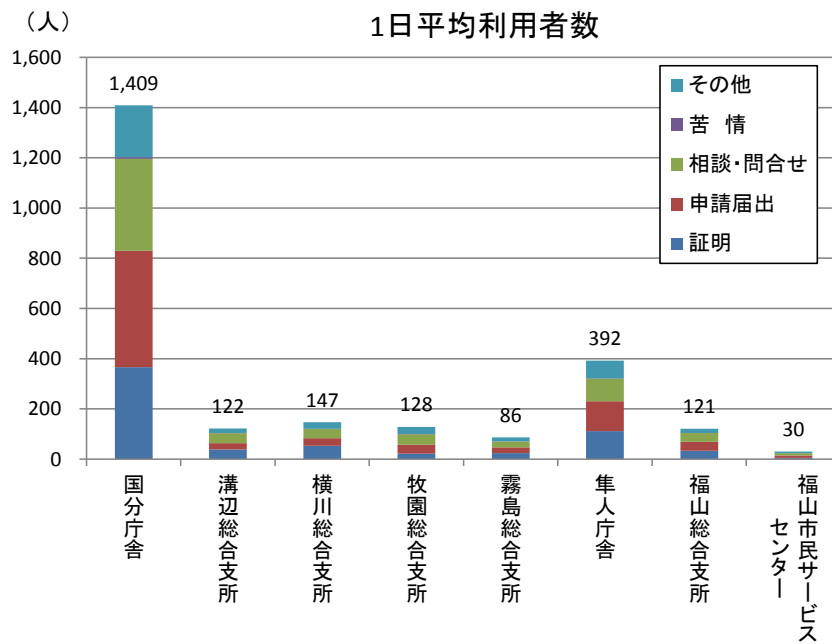
3階



### 福山市民サービスセンター



- 庁舎への来訪者数をみると、国分庁舎では1日平均約1400人、次いで隼人が約400人の順で多く、福山市民サービスセンターは少ない。
- 中山間地域の住民が、通勤や買物のついでに本庁舎（国分）を訪れることも多い。また、それぞれ地区面積が広大であるため、国分との境界に近いエリアの住民の多くは、支所ではなく本庁舎を利用している。

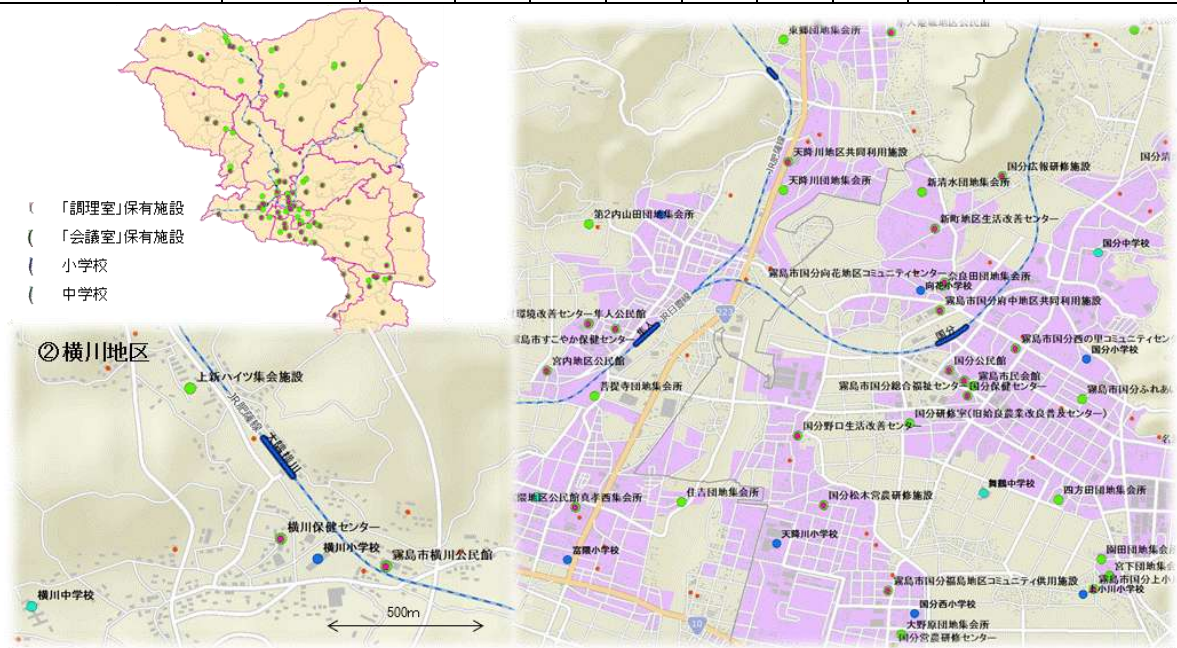


資料) 市民対応現況調査(霧島市)をもとに作成(調査期間:平成23年12月12日~16日)

## (2) 市民文化系施設

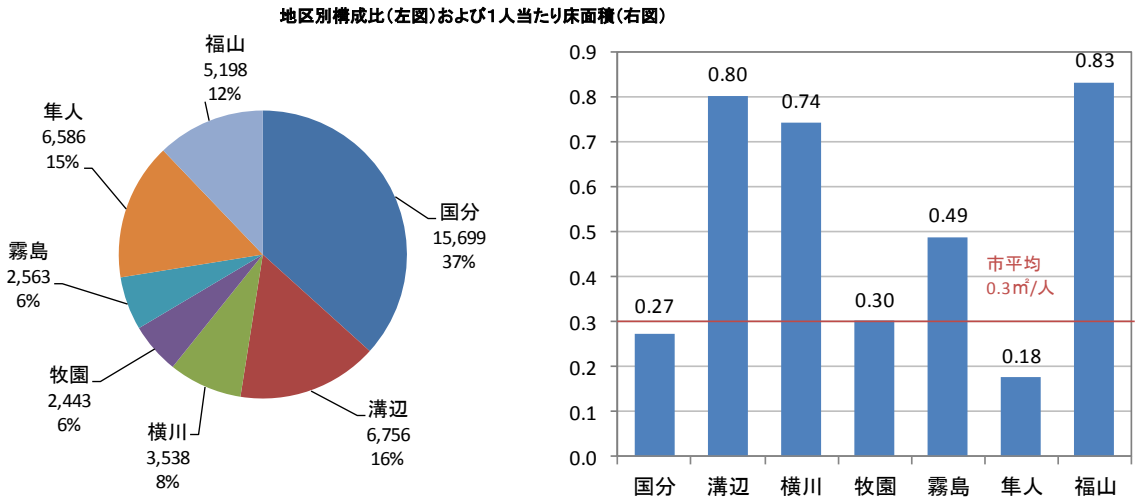
- 市民文化施設は、博物館（旧田中家別邸）、文化施設（霧島市民会館等）、集会施設（公民館等）に分類され、全4.3万㎡のうち3.97万㎡を集会施設が占めている。
- 集会施設は、公民館、地区集会所、共同利用施設、コミュニティセンターなどに分類され、会議室、和室、調理室等の機能を保有する施設が多くみられる。会議室、調理室機能に着目した立地については次頁を参照のこと

| 区分<br>(施設数)              | 主な機能        | 延床<br>面積<br>㎡ | 地区別保有量(㎡) |       |       |       |       |       |       | 設置条例                          |
|--------------------------|-------------|---------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------------|
|                          |             |               | 国分        | 溝辺    | 横川    | 牧園    | 霧島    | 隼人    | 福山    |                               |
| 公民館(34)                  | 会議室、和室、調理室等 | 20,78         | 2,453     | 4,507 | 1,869 | 2,204 | 1,784 | 3,493 | 4,479 | 霧島市立公民館の設置及び管理に関する条例          |
| 地区集会所等(44)               | 和室(集会スペース)等 | 5,957         | 4,451     | 255   | 315   | 110   | 123   | 413   | 290   | 霧島市国分地区集会所の設置及び管理に関する条例等      |
| 共同利用施設(5)                | 会議室、調理室等    | 2,505         | 256       | 549   | -     | -     | 745   | 955   | -     | 霧島市隼人地区共同利用施設の設置及び管理に関する条例等   |
| コミュニティセンター(4)            | 会議室、和室等     | 2,011         | 663       | 1,348 | -     | -     | -     | -     | -     | 霧島市溝辺コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例等 |
| 生活改善センター(4)              | 会議室、調理室等    | 660           | 512       | -     | -     | -     | -     | -     | 148   | 霧島市生活改善センターの設置及び管理に関する条例等     |
| 活性化センター(5)               | 会議室、調理室等    | 1,476         | -         | -     | 463   | -     | -     | -     | 1,013 | 霧島市農村活性化施設の設置及び管理に関する条例等      |
| その他<br>(青少年の家、加工施設等)(16) | 会議室、和室、調理室等 | 6,296         | 1,47      | 103   | 891   | 768   | 956   | 1,72  | 375   | 霧島市農産物加工施設等の設置及び管理に関する条例等     |

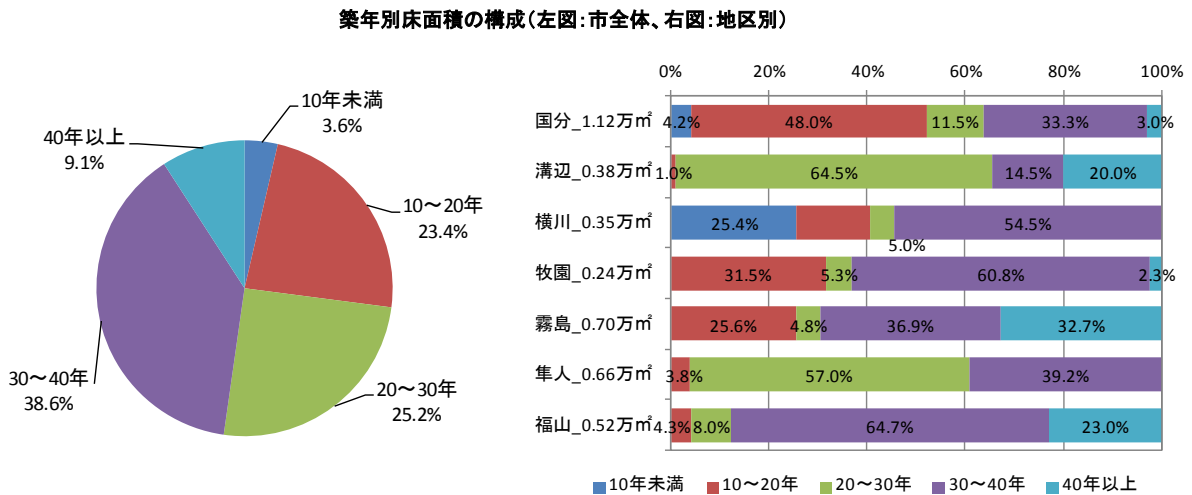




- 市民文化系施設の地区別保有状況をみると、国分が全体の37%、次いで溝辺が16%、隼人が15%、福山地区が12%である。
- 1人当たり床面積をみると、福山地区が最も高く、次いで溝辺、横川地区となっている。



- 市民文化系施設全般についてみると、築30年を経過した施設は2万㎡であり、全体の48. %を占め、40年を経過した施設も9.1%となっている。
- 多くの施設では大規模改修等は実施されていないため、劣化度が高い傾向がみられる。
- 拠点公民館についてみると、霧島公民館(1971年)、横川公民館(1978年) 福山公民館(1979年)、福山公民館分館(1979年)等は築40年を経過しており、今後、大規模な改修や建替等への対応が求められる。

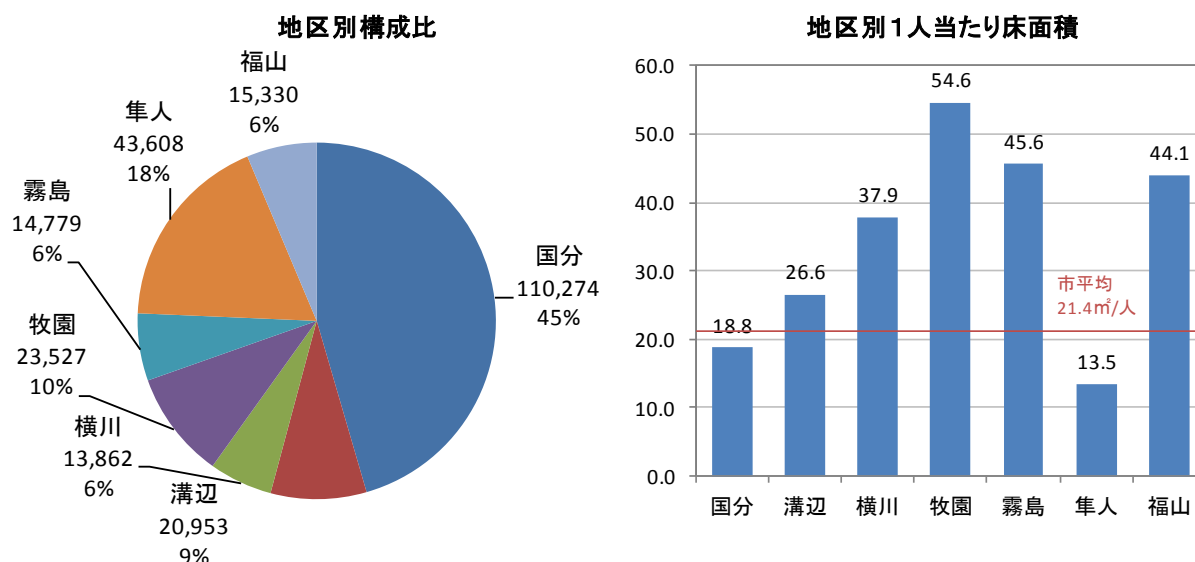




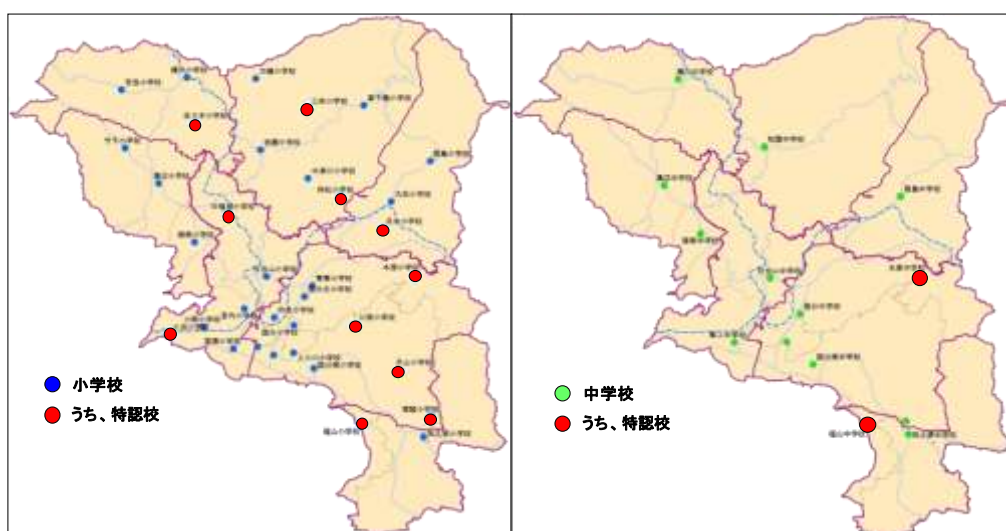
### (3) 学校教育施設

- 本市の学校教育施設の延べ床面積は 24.2 万㎡である。
- 施設分類毎に見ると、小学校が 12 万㎡、中学校が 7.2 万㎡である。地区別では、国分が 11 万㎡を占めており、全体の 45%を占める。

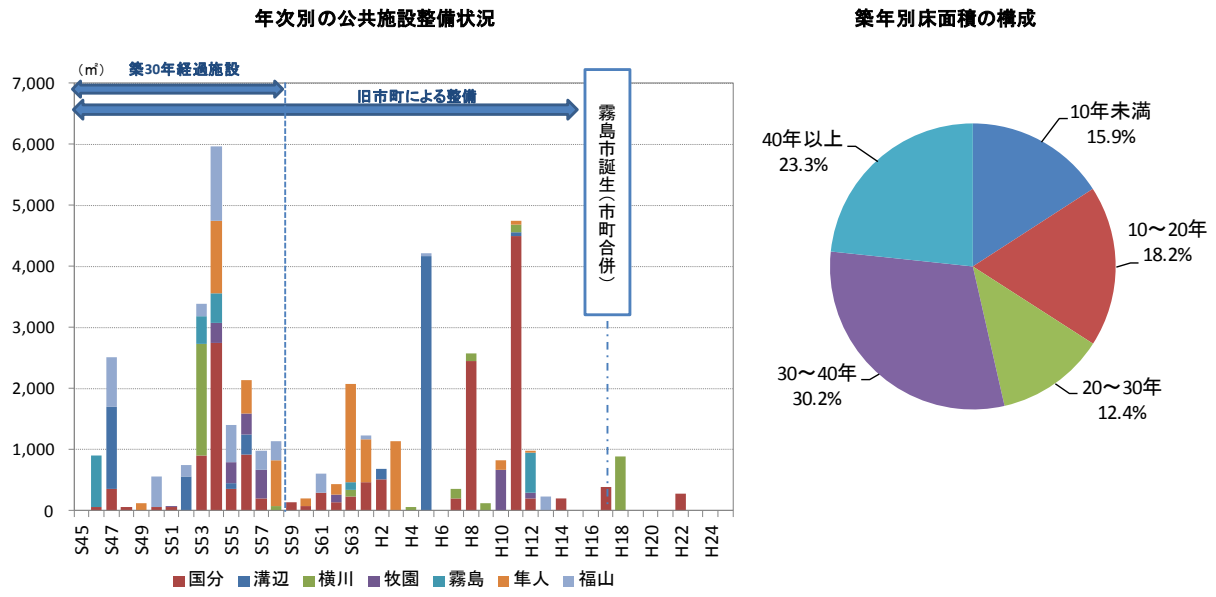
児童生徒 1 人当たり床面積は、牧園地区が最も大きく、霧島地区、福山地区、横川地区の順となっており、中山間地域の値が大きい。



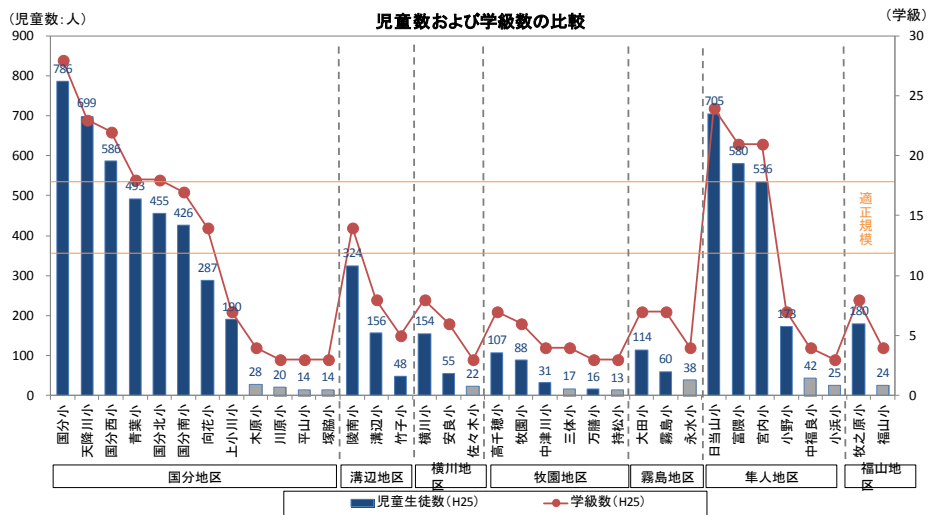
- 小学校は全 35 校（うち特認校 11 校）、中学校は全 13 校（特認校 2 校）である。
- 平成 22 年度、過大規模校対策としての学区再編がされたが、小規模校対策としての再編は、市町合併以降、行っていない。
- 国分・福山地区等、地区境界では比較的近い範囲に学校が立地しているところもみられる。



- 昭和 50 年代に整備が進められた校舎・施設等が多く、築 30 年以上を経過する施設は、13 万 m<sup>2</sup> (全体の約 53.5%) に及ぶ。

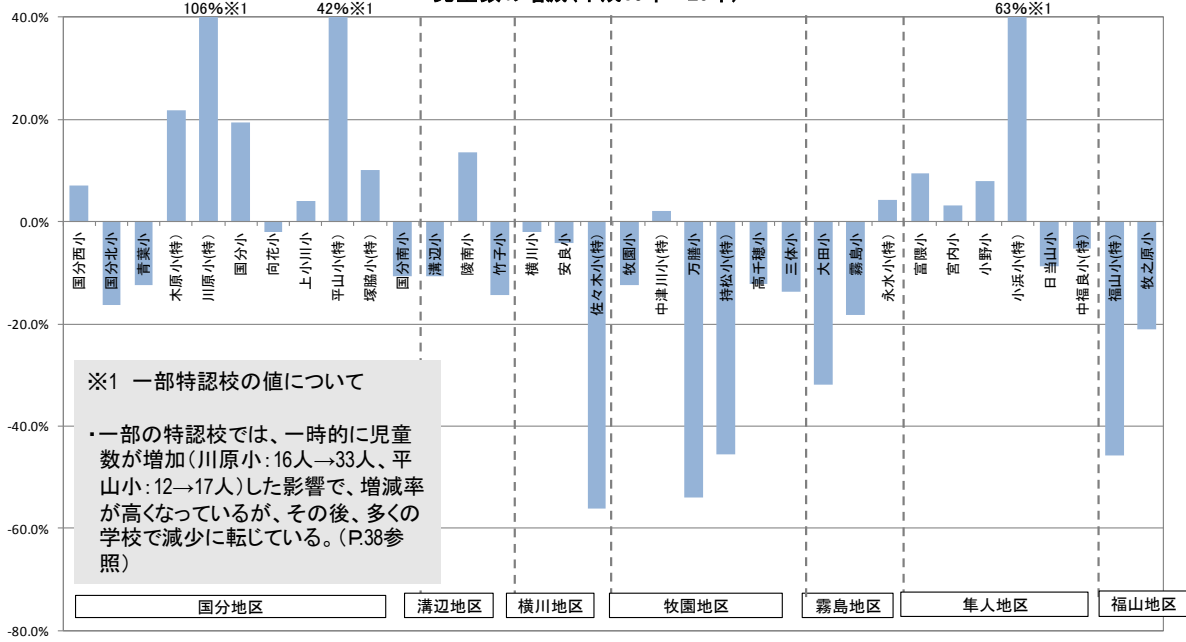


中山間地域の小学校では、一般的に適正規模の基準とされている学級数の下限（12 学級）を下回る小学校が多い。



- 平成 15 年～平成 20 年における児童数の増減をみると、国分、隼人地区の市街地に立地する小学校および中山間地域では陵南小のみが増加している。中山間地域に立地するその他の小学校では、特認校等の小規模な学校を除き、概ね減少傾向となっている。特に中山間地域において児童生徒数を確保していくことは困難な状況がうかがえる。

児童数の増減(平成15年～20年)

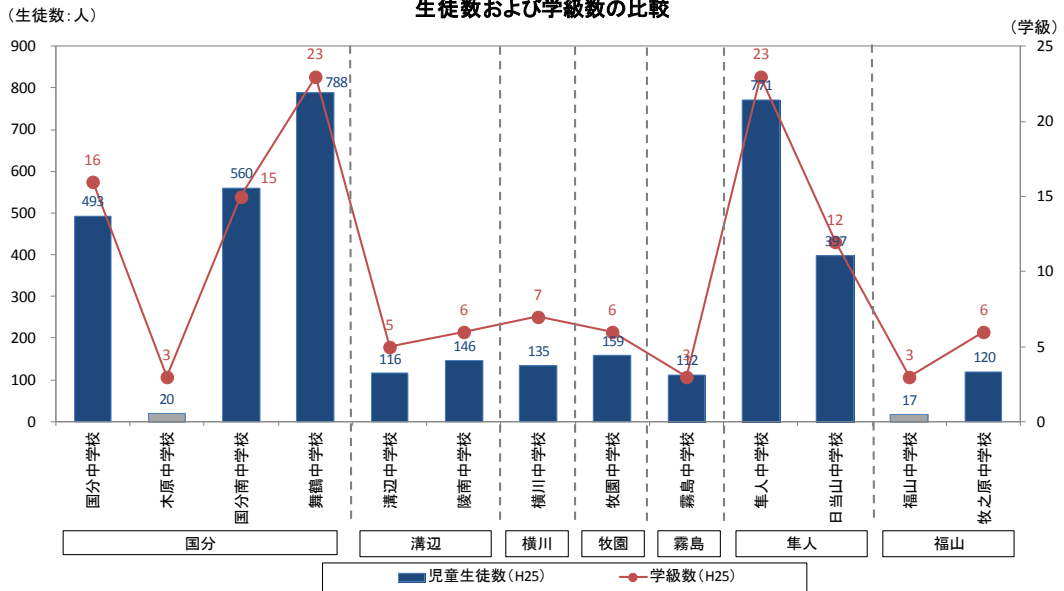


※1 一部特認校の値について  
 ・一部の特認校では、一時的に児童数が増加(川原小:16人→33人、平山小:12→17人)した影響で、増減率が高くなっているが、その後、多くの学校で減少に転じている。(P.38参照)

(注)平成22年に国分西小の過大規模対策として天降川小が分離新設され、周辺学区を含めた再編がなされたため、ここでは、平成15年～20年における児童数の増減を整理した

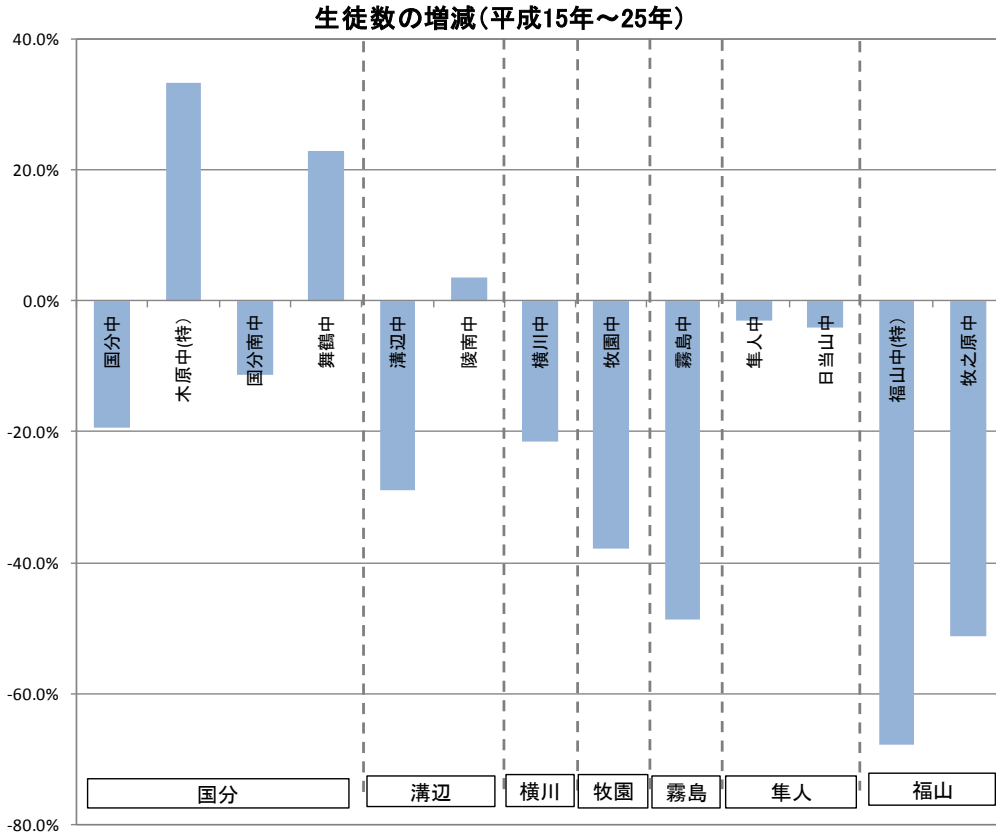
- ・ 中山間地域に立地する中学校生徒数は100名～160名程度であり、国分、隼人地区の中学校と比較して規模が小さい。
- ・ 特認校として指定されている2校ではそれぞれ17名、20名となっている。

生徒数および学級数の比較

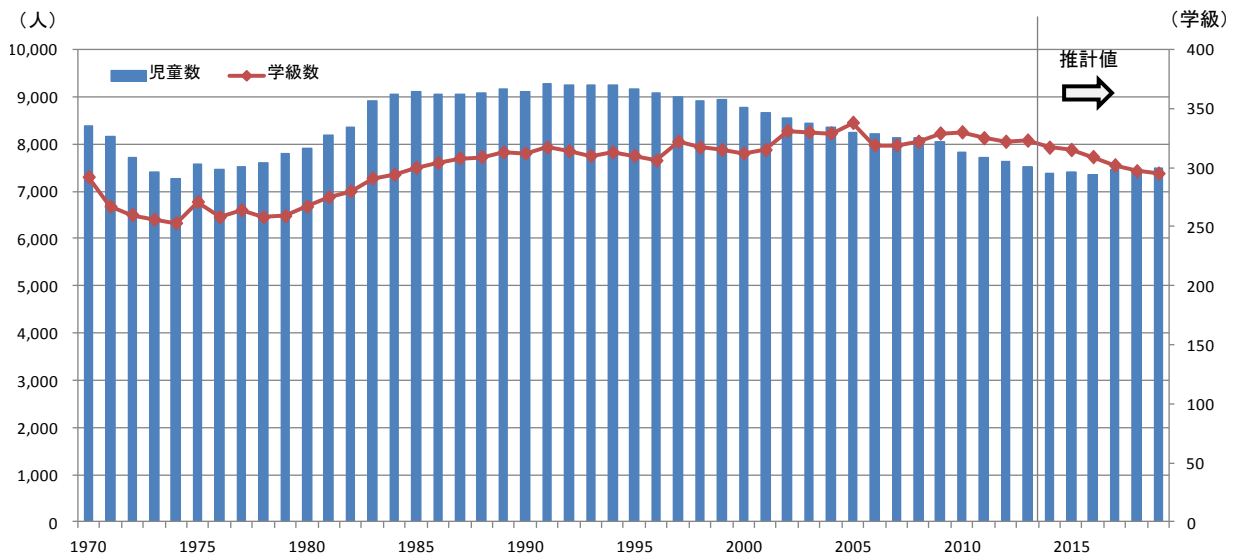


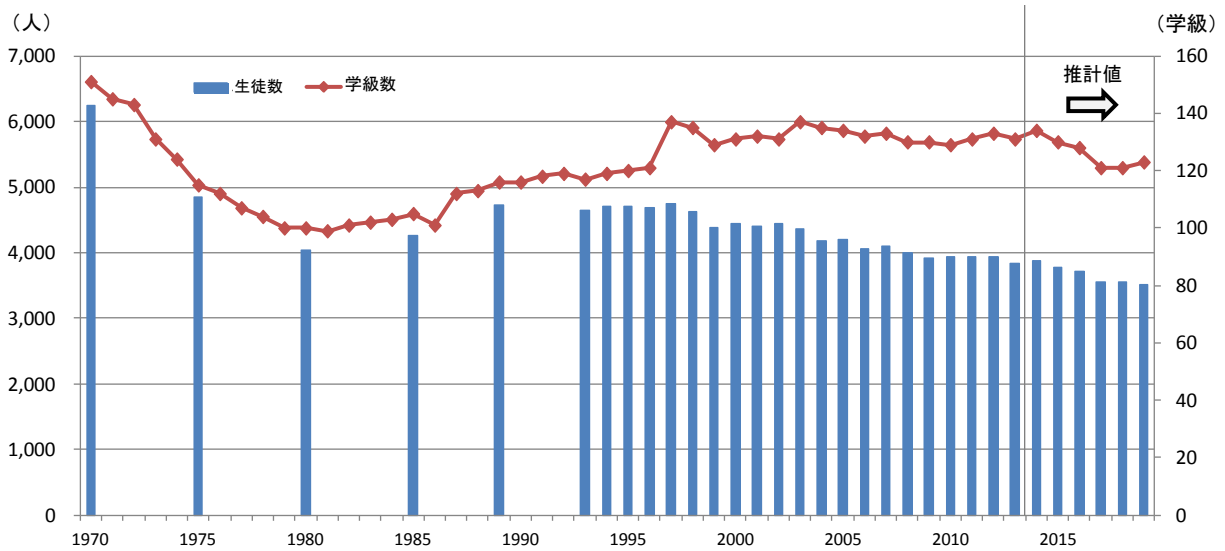
- ・ 中学校別にみると、最近10年間で生徒数が増加しているのは舞鶴中、陵南中のみであり、その他の中学校では減少している(特認校等の小規模な学校を除く)。

- 福山、牧園、霧島地区で減少傾向著しく、福山中では53名が17名（36名減）、牧之原中では246名が120名（126名減）となっている。



- 中長期的にみると、児童数は1990年代後半以降減少傾向となっている。





#### <小学校のあり方に係る検討の状況>

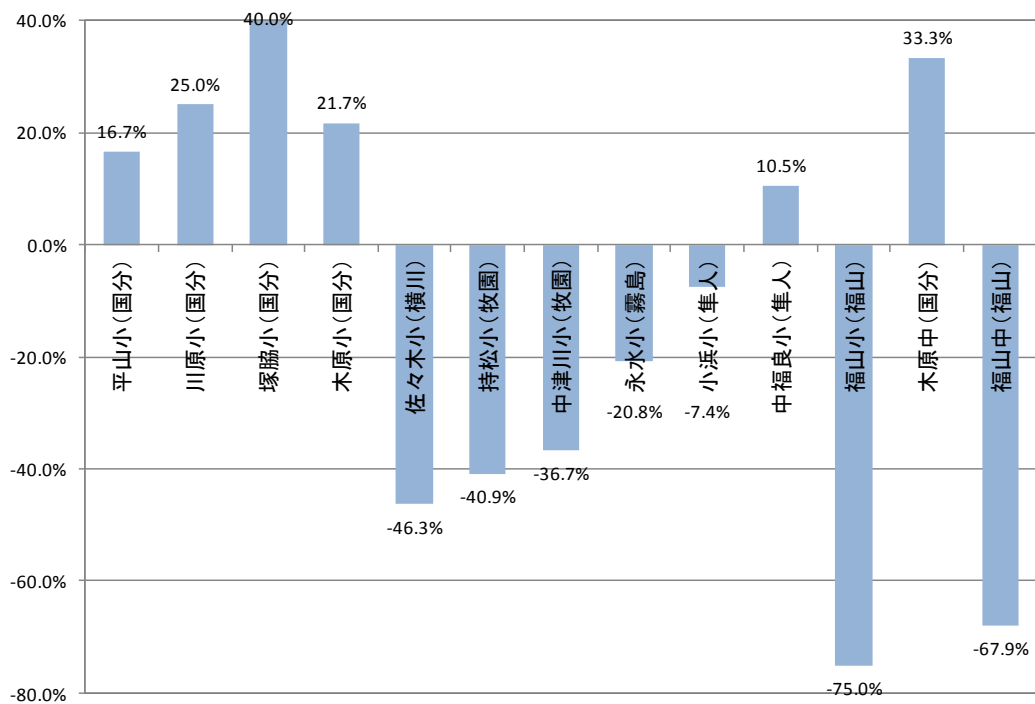
- 本市では、全国的な少子化傾向、県内各市町村での学校再編の動向を踏まえ、平成 22 年以降、地域住民との意見交換会などを実施し、小規模小学校の今後のあり方について検討を行った。
- その結果、小学校を中心として地域住民の融和・親睦が図られていることや、地域住民が地元の学校に対して、強い愛着心を持っていること等を踏まえ、当面の間の小学校全体の活性化の方針を定めている（平成 24 年 2 月）。

#### ○小学校活性化の方策

- (1) 特認校制度の充実
- (2) 山村留学制度の充実
- (3) 小中連携、幼小連携の充実
- (4) 学校応援団の導入
- (5) 地域の核としての機能

#### <特認校制度>

- 豊富な自然環境に恵まれた小規模校の特性を生かした学校教育を希望する保護者・児童生徒に対し、市域内からの入学（転学）を認める制度であり、小学校 11 校、中学校 2 校が指定されている。
- 国分隼人周辺の一部学校（中福良小等）では、児童数を維持している学校も見られるが、多くは減少している。
- 中山間地域では少子化に歯止めがかからず、特認校では自地域の子供より他地域から通う子供が多い学校もある。



<その他>

- 永水小学校、中津川小学校では山村留学を受け入れている。

#### (4) スポーツ・レクリエーション系施設

##### 1) スポーツ施設

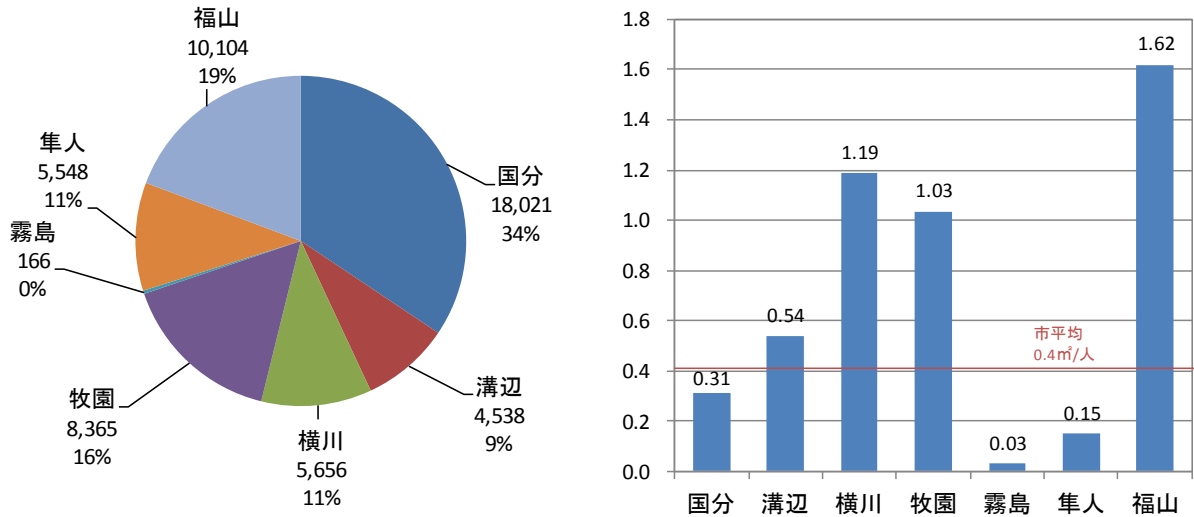
- 本市のスポーツ施設は6.1万㎡であり、施設の概略は下表のとおり整理される。
- 体育館や陸上競技場等の複数のスポーツ施設をあわせもつ総合運動公園が各地区に整備されていることが特徴であり、そのほかに、プール、体育館、武道場等を保有している。福山地区では、福山体育館のほか、地区自治公民館区ごとに体育館を保有している。

| 地区   | 施設名称等  |
|------|--|
| 国分地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○国分運動公園<br/>(体育館、陸上競技場、球場、多目的広場、多目的屋内運動場、庭球場)</li> <li>○国分総合プール</li> <li>○いきいき国分交流センター (温水プール、トレーニングルーム、体育館等)</li> <li>○国分体育センター</li> <li>○国分武道館</li> <li>○春山農村公園</li> <li>○北公園</li> <li>○南公園</li> <li>○国分児童体育館</li> </ul>                                  |
| 溝辺地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○溝辺上床公園<br/>(体育館、運動場、庭球場等)</li> </ul>   |
| 横川地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○横川運動公園<br/>(体育館、運動場、温水プール 等)</li> </ul>  |
| 牧園地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○みやまの森運動公園<br/>(アリーナ、運動場、ゲートボール場)</li> <li>○牧園 B&amp;G 海洋センター(プール、体育館)</li> </ul>   |
| 霧島地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○霧島運動場</li> <li>○霧島弓道場</li> </ul>   |
| 隼人地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○隼人運動施設<br/>(体育館、運動場、武道場・弓道場)</li> <li>○隼人松永運動施設</li> <li>○サン・あもり</li> </ul>  |
| 福山地区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○まきのはら運動公園<br/>(福山パークゴルフ場、まきばドーム、まきのはら運動公園多目的広場)</li> <li>○福山体育館</li> <li>○福山運動場</li> <li>○福山プール</li> <li>○福山中央地区多目的研修施設</li> <li>○牧之原運動場</li> <li>○福山福沢地区体育館</li> <li>○福山福地地区体育館</li> <li>○福山佳例川地区体育館</li> <li>○福山比曾木野地区体育館</li> <li>○福山大廻地区体育館</li> </ul> |



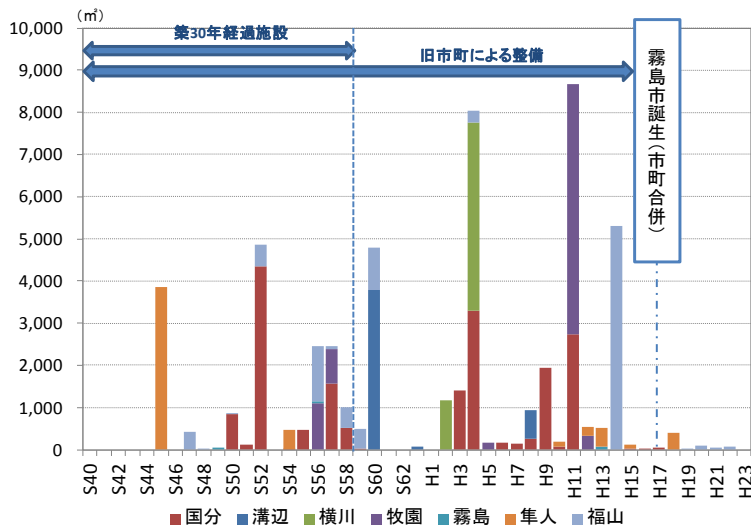
- 地区別の保有状況をみると、国分地区が34%で最も多く、次に福山地区（構成比19%）、牧園地区（同16%）である。
- 人口1人当たり床面積では福山地区が突出して高く、横川地区、牧園地区、溝辺地区が続いている。

地区別構成比(左図)および1人当たり床面積(右図)

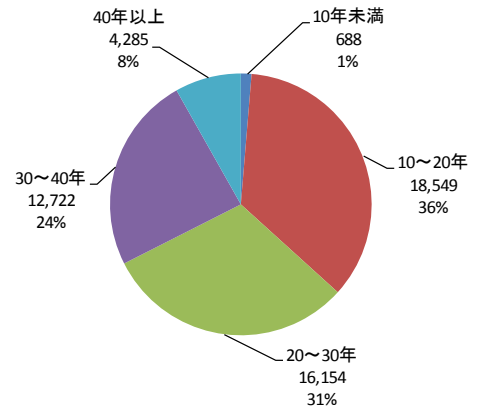


- 3000 m<sup>2</sup>から6000 m<sup>2</sup>規模の総合運動公園が、合併前に旧市町ごとに整備されている。合併以降も、地区ごとにこれらのスポーツ施設をフルスペックで維持してきたことが特徴である。
- 平成以降に整備された施設も多く、築20年未満の施設が36%を占めるが、国分、隼人などでは昭和50年代までに整備されており、築30年を経過した施設の割合も32%となっている。

年次別の公共施設整備状況

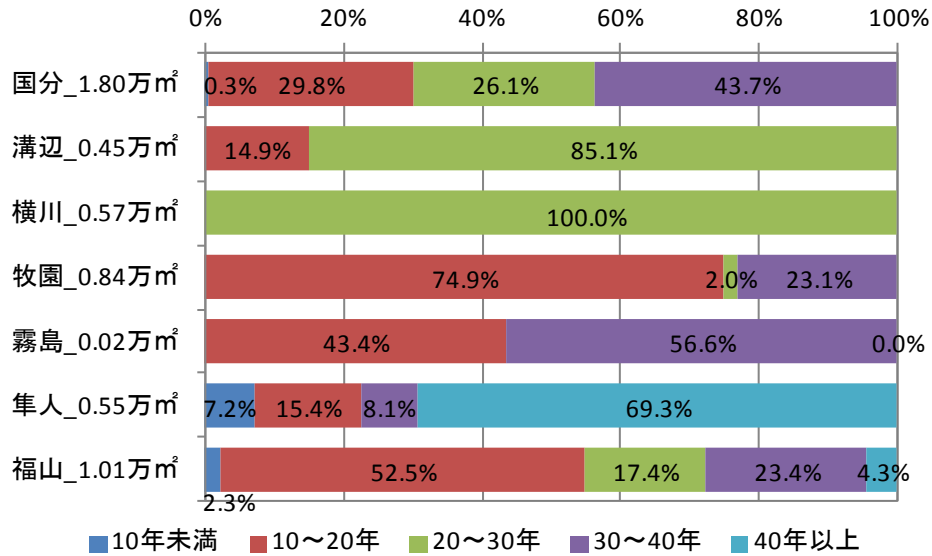


築年別床面積の構成



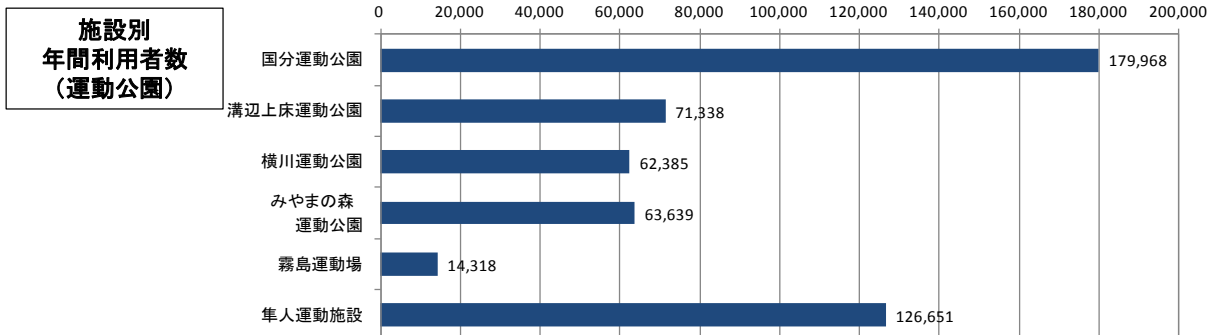
- 地区別にみると、国分、隼人地区において 30 年以上経過した施設の割合が高い。

経過年数別の床面積の構成比(地区別)

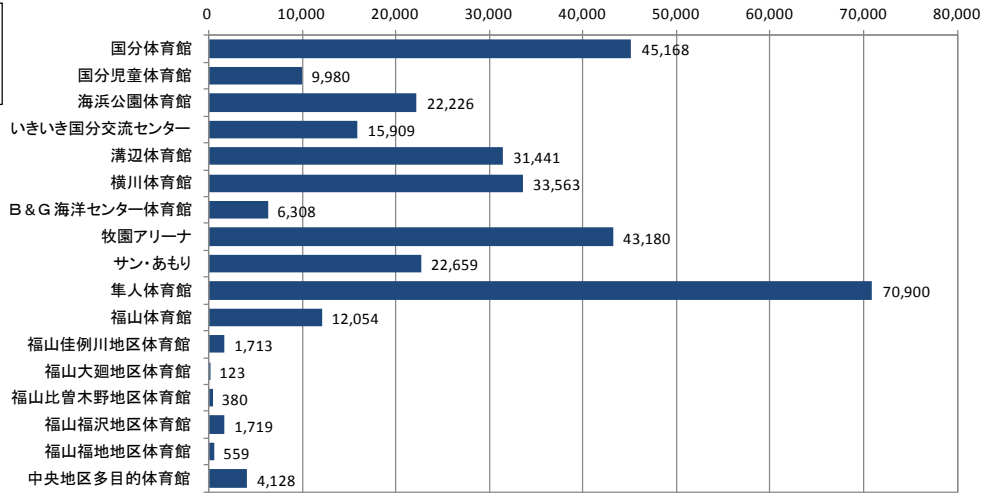


- 総合運動公園の利用者数をみると、国分運動公園が約 18 万人、隼人運動施設が約 13 万人、溝辺、横川、牧園地区に立地する運動公園では 6 万人～7 万人、霧島運動場では 1.4 万人となっている。
- 体育館についてみると、隼人体育館（年間約 7.1 万人）、国分運動公園体育館（4.5 万人）、牧園アリーナ（4.1 万人）であり、その他地区の主要な体育館では 1 万人～3 万人の集客となっている。  
福山地区が保有する地区体育館では、年間 123 人、380 人という施設も見られる。
- プールでは、国分総合プールが 5.5 万人となっている。

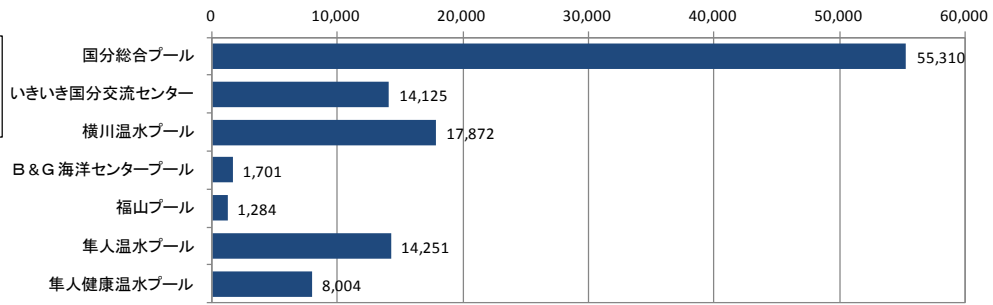
施設別年間利用者数



**施設別  
年間利用者数  
(体育館)**



**施設別  
年間利用者数  
(プール)**

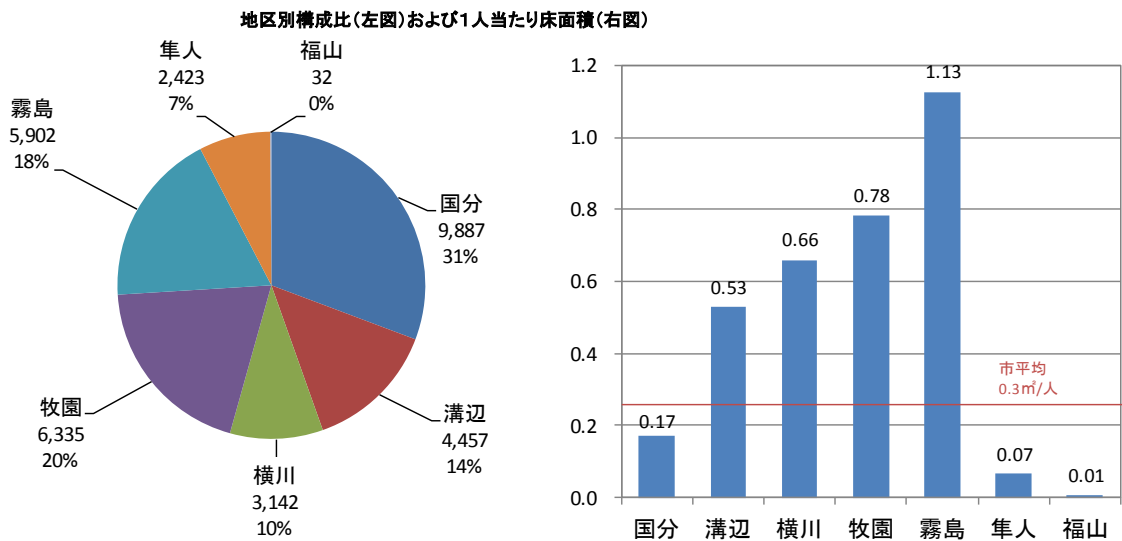


## 2) レクリエーション施設

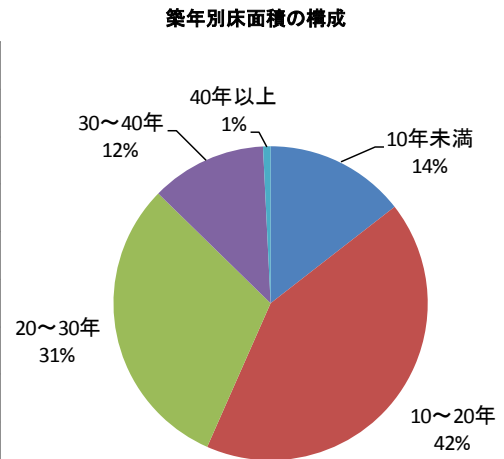
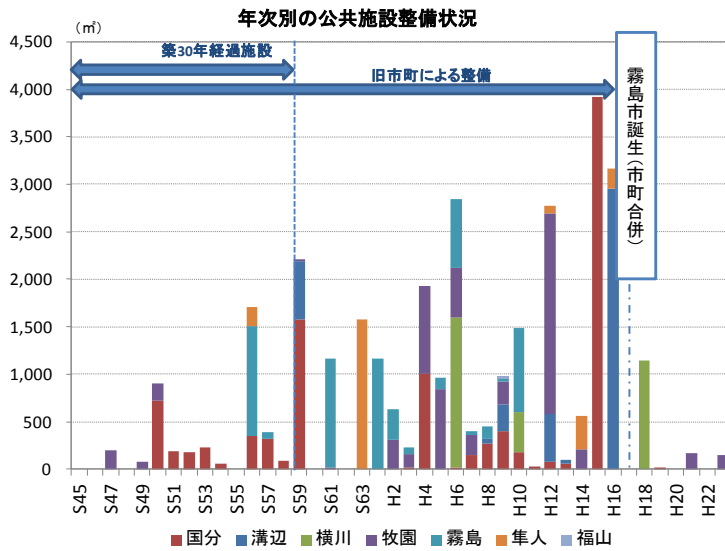
- 本市のレクリエーション系施設は2.5万㎡であり、施設は、温泉施設と公園等（テーマパーク、キャンプ場・宿泊施設等）などに分類される。

| 地区   | 施設名称              | 分類   | 延床面積(㎡) | 整備年次      |
|------|-------------------|------|---------|-----------|
| 国分地区 | 国分海浜公園            | 公園等  | 1,717   | 1984～2001 |
|      | 城山公園              | 公園等  | 1,594   | 1975～2007 |
|      | 国分キャンプ海水浴場        | 公園等  | 1,344   | 1976～1981 |
|      | 国分ハイテク展望台         | その他  | 985     | 1992      |
|      | 黒石岳森林公園           | 公園等  | 510     | 1996～1998 |
| 溝辺地区 | 溝辺ふれあい温泉センター      | 温泉   | 1,094   | 1984～2000 |
|      | 溝辺野外ステージ          | 公園等  | 285     | 1997      |
| 横川地区 | 横川健康温泉センター        | 温泉   | 1,576   | 1994      |
|      | 丸岡公園              | 公園等  | 1,149   | 2006      |
|      | バンガロー「こもれび」       | 公園等  | 417     | 1998      |
| 牧園地区 | 霧島高原乗馬クラブ         | スポーツ | 3,802   | 1990～2000 |
|      | 霧島高原国民休養地         | 公園等  | 1,743   | 1972～2011 |
|      | 関平温泉              | 温泉   | 616     | 2000～2002 |
|      | 塩浸温泉龍馬公園          | 温泉   | 174     | 2009      |
| 霧島地区 | 霧島緑の村             | 公園等  | 2,423   | 1981～86   |
|      | 神話の里公園            | 公園等  | 2,334   | 1990～96   |
|      | 霧島市霧島温泉健康増進交流センター | 温泉   | 889     | 1998      |
|      | 霧島観光案内所           | その他  | 256     | 1989      |
| 隼人地区 | 浜之市ふれあいセンター       | 温泉   | 624     | 2000～2004 |
|      | 小浜海水浴場            | 公園等  | 196     | 1981      |

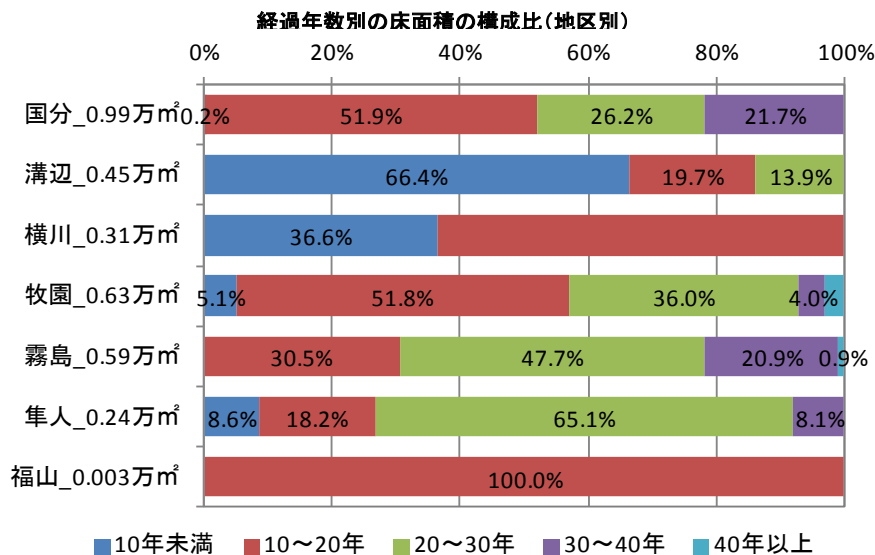
- 地区別の保有状況をみると、国分地区（31%）に次いで、牧園地区（構成比20%）、霧島地区（同18%）が多い。
- 人口1人当たり床面積では霧島地区が最も高く、牧園、横川、溝辺が続いている。



- 他の施設と比べ近年になってから整備された施設が多く、築後経過年数が20年未満の施設が全体の56%を占める。
- 築30年以上が経過した施設は約4千㎡（構成比13%）であり、国分地区では国分キャンプ海水浴場（休憩施設等1,717㎡）、城山公園（1,594㎡）、霧島地区では霧島緑の村（2,423㎡）などが該当する。
- 温泉施設については、溝辺ふれあい温泉センター（1984年）を除くと、全て1990年代以降に設置されている。



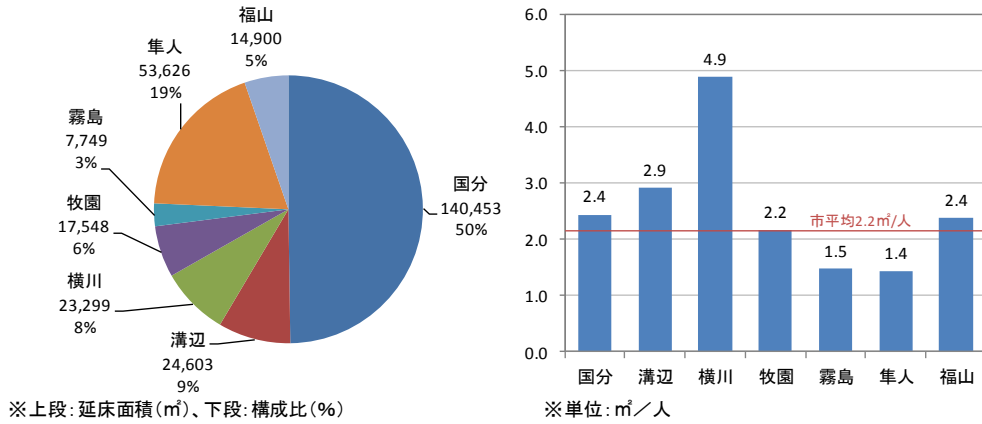
- 地区別にみると、30年以上経過した施設の割合は、国分、霧島地区において20%以上となっているが、その他地区では全般的に30年未満の施設の割合が高い。



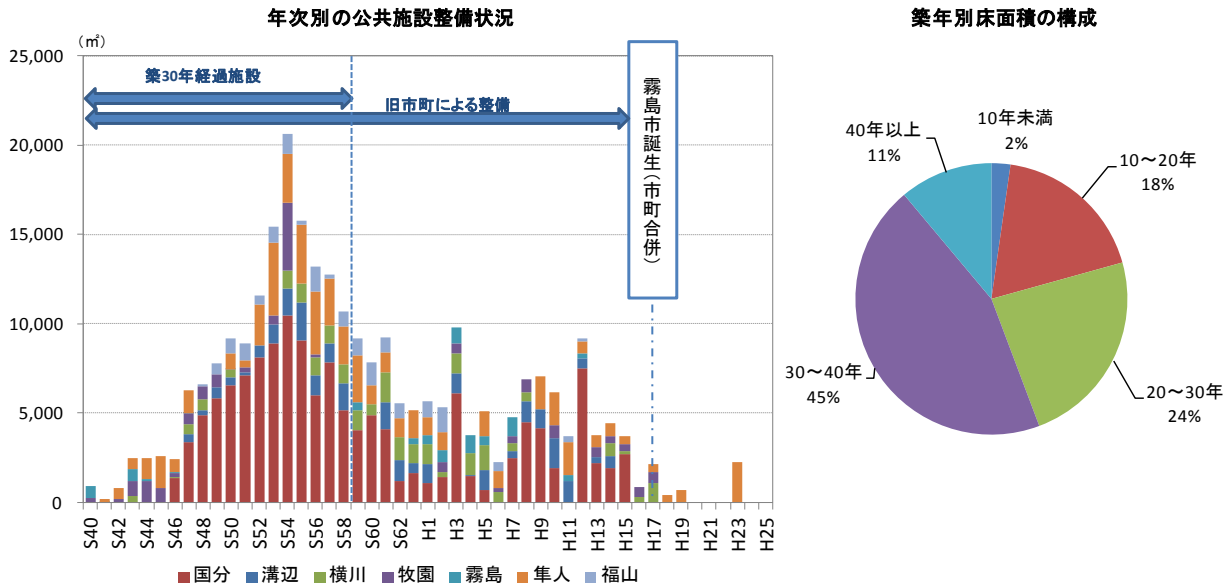
## (5) 公営住宅

- 公営住宅の延べ床面積は 28.2 万㎡であり、市の施設保有面積の約 3 分の 1 を占める。
- 人口 1 人当たり床面積（ 2.2 ㎡/人）は、他市と比較して非常に高い。
- 地区別保有状況をみると国分地区、隼人地区が約 7 割を占める。地区人口 1 人当たり床面積では、横川地区が 4.9 ㎡/人と突出して高く、溝辺、福山、国分が平均を上回る。

地区別構成比(左図)および1人当たり床面積(右図)

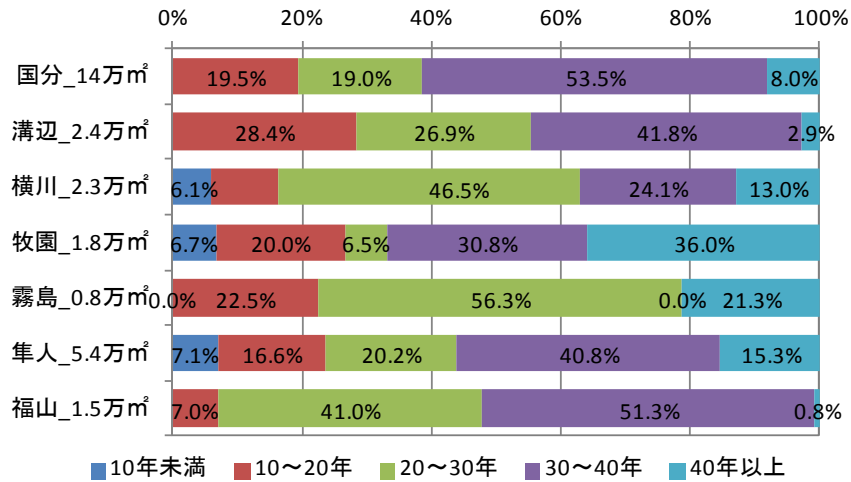


- 築 30 年以上経過した施設が約 15.7 万㎡であり、全体の 56% に及ぶ。
- これらの施設では、今後、老朽化対策として大規模な改修や建替え等が求められることから、財政的に大きな負担となることが予測される。

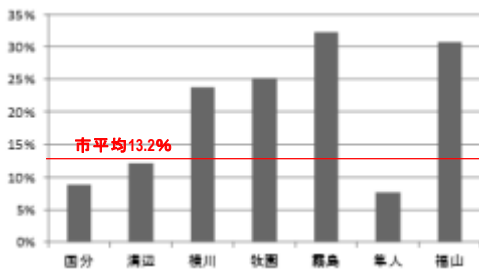


- 地区別にみると、築 30 年以上経過した住宅は、国分、牧園、隼人、福山地区では全体の 60% から 70% を占めている。
- 住宅保有量の多い国分地区では、全 14 万㎡のうち 8.6 万㎡ (61.5%) を占めている。

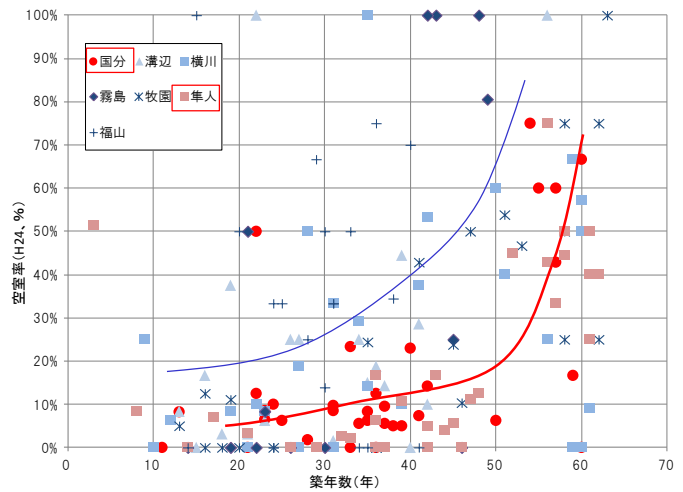
築年別床面積の構成(地区別)



- 本市の公営住宅の空室率（全体）は13.2%である。中山間地域地ほど高く、霧島、福山地区では30%を、横川、牧園地区では20%を上回っている。
- 国分、隼人地区では、築40年経過した施設でも空室率10%前後の施設が多くみられる。一方、その他の地区では、築20～40年程度の施設でも空室率が高い傾向がみられる。



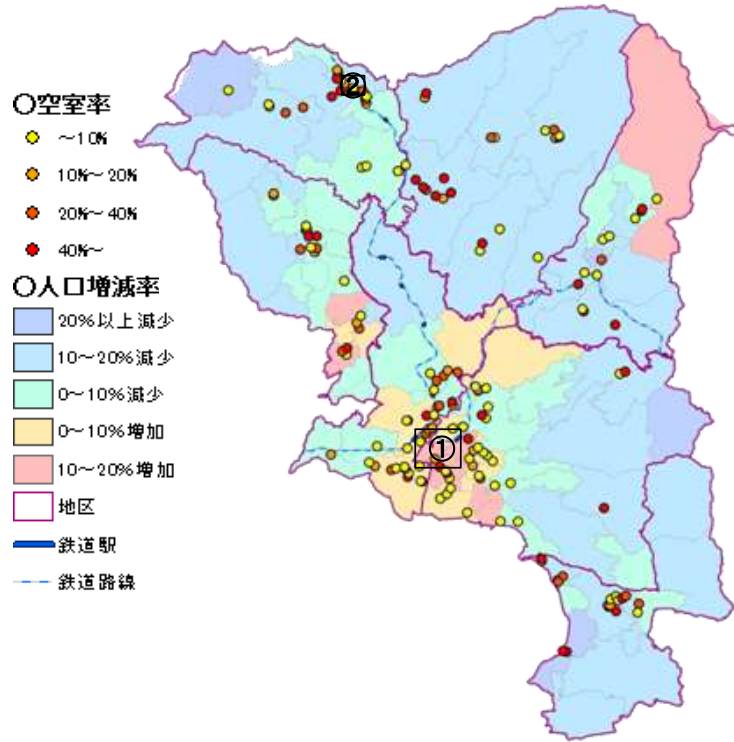
※(地区毎の空室戸数) / (地区毎の総戸数)により算出



※グラフ中の曲線は、国分・隼人地区(赤)、其他地区(青)ごとに、概ねの空室率・築年数の傾向の目安として記したもの



### 施設の配置及び空室率の状況



①国分・隼人中心部



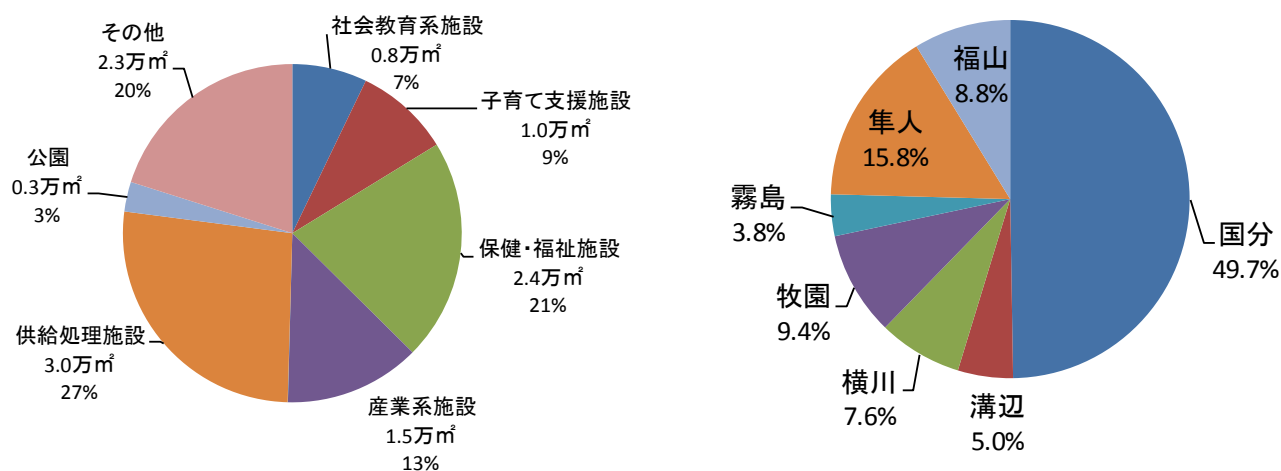
②横川駅周辺



## (6) その他施設

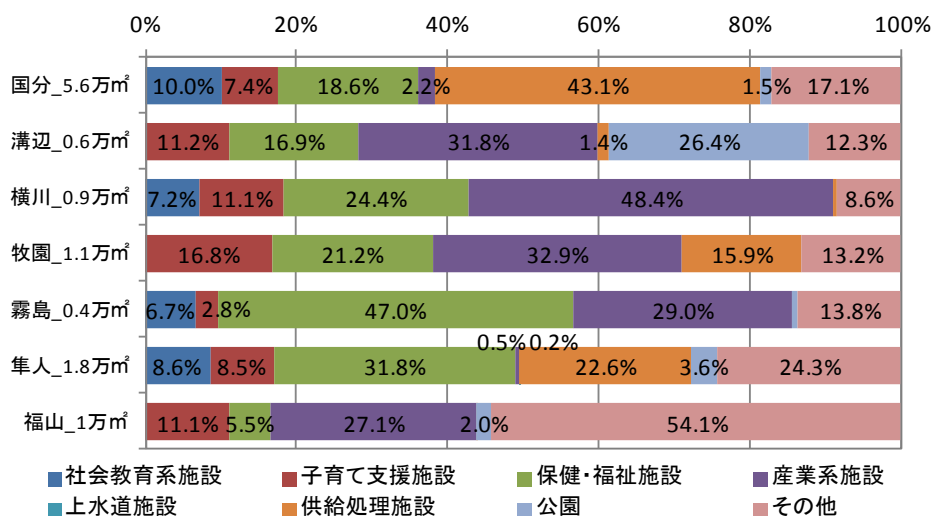
- (1)～(5)に含まれないその他施設の総床面積は約11.4万㎡であり、その内訳は、供給処理施設(清掃センター、ごみ処理場、し尿処理場等)3万㎡、保健福祉施設(保健福祉センター、老人憩いの家、障がい者施設等)2.4万㎡、産業系施設(関平鉱泉販売所、畜産研修センター、お茶加工研修館、農産加工施設、農産物直売所、家畜審査場等)1.5万㎡、子育て支援施設(保育園、児童クラブ)1.0万㎡、社会教育施設(図書館等)0.8万㎡、そのほか、駐輪場や斎場、旧市町時代に廃校となった学校等(旧福山小、旧佳例川小、旧本戸小、旧牧之原幼稚園)等が2.3万㎡となっている
- 保有量を地区別にみると、国分地区が49.7%で全体の約半数を占め、次いで隼人地区(15.8%)、牧園地区(9.4%)となっている。

図表 用途別床面積構成比(左図)および地区別床面積構成比(右図)

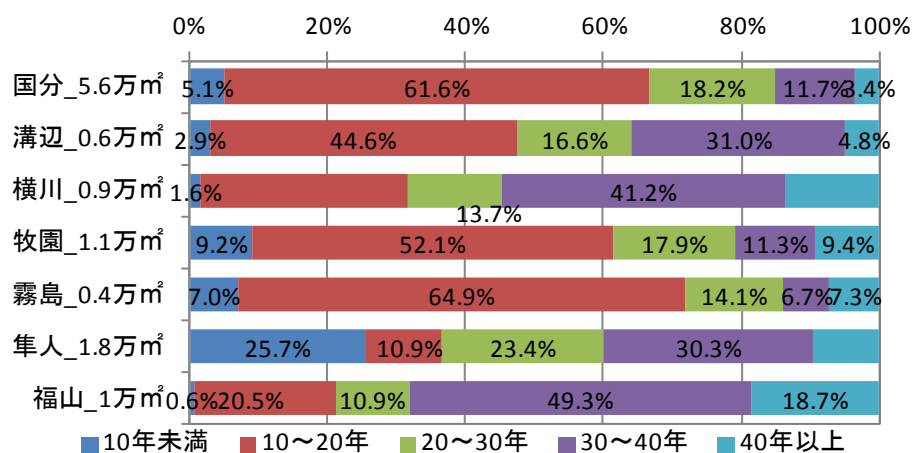


- 国分地区では、供給処理施設が43.1%を占め、次に保健・福祉施設が18.6%、その他(本土小、駐輪場、斎場等)が17.1%を占める。横川地区、牧園地区では産業系施設(農産物加工所等)の占める割合が高いことが特徴であり、霧島地区、隼人地区では、保健・福祉施設の割合が高い。

図表 地区別用途別床面積構成比



- 築年代別にみると、福山地区、横川地区では、築30年以上が経過する施設の割合が40%を超えている。福山地区では、廃校後の校舎（旧福山高校、旧佳例川小学校、旧福山小学校）、横川地区では、築高齢者福祉施設（横川長安寮）、農産加工施設等が該当する。
- その他の地区では、築20年未満の施設が多い。



### 3. 市民アンケート調査の概要

#### (1) 調査概要

##### 1) 調査の目的

公共施設に対する認知度や利用状況等を把握するとともに、本市が保有する公共施設に関する維持・管理の方向性等について、市民の意識を把握することにより、今後の公共施設マネジメント計画検討に資する基礎資料とすることを目的とした。

##### 2) 調査方法

###### ① 調査対象者

霧島市民の中から、居住地区の人口規模、性別、年齢別に配慮して無作為に抽出した 20 歳以上の市民 2,100 人。

###### ② 調査票の配布・回収の方法

郵送による配布・回収。

###### ③ 実施期間

平成 25 年 6 月 13 日(木)～6 月 27 日(木)

###### ④ 配布数及び回収状況

地区別の配布数及び回収状況は以下のとおり。

[地区別配布数及び回収状況]

| 地 区  | 配布数   | 回収数 | 回収率   |
|------|-------|-----|-------|
| 国分地区 | 600   | 158 | 26.3% |
| 溝辺地区 | 250   | 77  | 30.8% |
| 横川地区 | 200   | 54  | 27.0% |
| 牧園地区 | 250   | 72  | 28.8% |
| 霧島地区 | 200   | 75  | 37.5% |
| 隼人地区 | 400   | 102 | 25.5% |
| 福山地区 | 200   | 59  | 29.5% |
| 無回答  |       | 2   | -     |
| 合 計  | 2,100 | 599 | 28.5% |

##### 3) 調査項目

###### 1) 公共施設の認知度、利用状況等について

- ・施設種類別の認知度、利用実績の有無と利用頻度について

###### 2) 公共施設により提供されるサービスや今後の維持・管理等に関する認識

- ・本市の公共施設の量やサービス内容に対する充実度について
- ・公共施設を維持していくための方策について
- ・現在の公共施設の使用料の負担について
- ・公共施設の管理・運営における委託や指定管理者制度の導入について
- ・市の施設の民間への委譲や既存の民間施設の利用について

※調査の実施に当たっては、以下の点に留意して実施した。

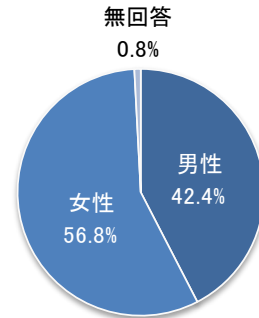
- ・公共施設を取り巻く環境についてご理解頂いたうえで回答頂けるよう、本市が保有する公共施設の実態や少子高齢化の状況等をまとめた資料(調査票を参照)を同封した。
- ・日常的に公共施設を利用していない人でも、具体施設を思い浮かべながら回答できるよう施設種別ごとに具体施設名称を例示した。
- ・市民の負担軽減のため、また、回収率を高めるため、設問は必要最小限の項目とした。

#### 4) 回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりである。

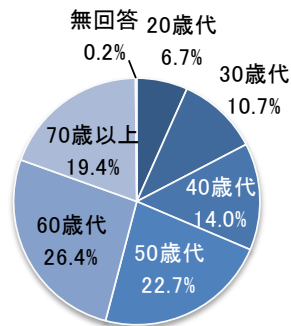
##### ① 性別

| No. | カテゴリ | 件数  | 構成比    |
|-----|------|-----|--------|
| 1   | 男性   | 254 | 42.4%  |
| 2   | 女性   | 340 | 56.8%  |
|     | 無回答  | 5   | 0.8%   |
|     | 合計   | 599 | 100.0% |



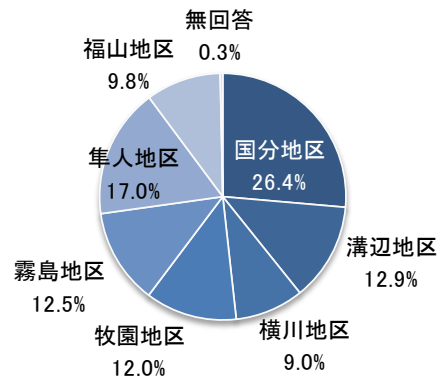
##### ② 年代別

| No. | カテゴリ  | 件数  | 構成比    |
|-----|-------|-----|--------|
| 1   | 20歳代  | 40  | 6.7%   |
| 2   | 30歳代  | 64  | 10.7%  |
| 3   | 40歳代  | 84  | 14.0%  |
| 4   | 50歳代  | 136 | 22.7%  |
| 5   | 60歳代  | 158 | 26.4%  |
| 6   | 70歳以上 | 116 | 19.4%  |
|     | 無回答   | 1   | 0.2%   |
|     | 合計    | 599 | 100.0% |



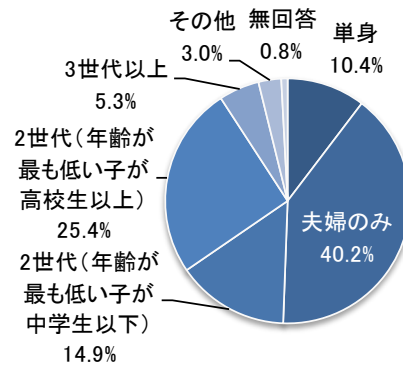
##### ③ 居住地区別

| No. | カテゴリ | 件数  | 構成比    |
|-----|------|-----|--------|
| 1   | 国分地区 | 158 | 26.4%  |
| 2   | 溝辺地区 | 77  | 12.9%  |
| 3   | 横川地区 | 54  | 9.0%   |
| 4   | 牧園地区 | 72  | 12.0%  |
| 5   | 霧島地区 | 75  | 12.5%  |
| 6   | 隼人地区 | 102 | 17.0%  |
| 7   | 福山地区 | 59  | 9.8%   |
|     | 無回答  | 2   | 0.3%   |
|     | 合計   | 599 | 100.0% |



##### ④ 家族構成別

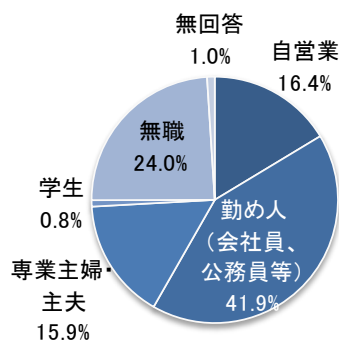
| No. | カテゴリ                | 件数  | 構成比    |
|-----|---------------------|-----|--------|
| 1   | 単身                  | 62  | 10.4%  |
| 2   | 夫婦のみ                | 241 | 40.2%  |
| 3   | 2世代(年齢が最も低い子が中学生以下) | 89  | 14.9%  |
| 4   | 2世代(年齢が最も低い子が高校生以上) | 152 | 25.4%  |
| 5   | 3世代以上               | 32  | 5.3%   |
| 6   | その他                 | 18  | 3.0%   |
|     | 無回答                 | 5   | 0.8%   |
|     | 合計                  | 599 | 100.0% |



※その他 夫の兄が一緒 等

⑤ 職業別

| No. | カテゴリ          | 件数  | 構成比    |
|-----|---------------|-----|--------|
| 1   | 自営業           | 98  | 16.4%  |
| 2   | 勤め人(会社員、公務員等) | 251 | 41.9%  |
| 3   | 専業主婦・主夫       | 95  | 15.9%  |
| 4   | 学生            | 5   | 0.8%   |
| 5   | 無職            | 144 | 24.0%  |
|     | 無回答           | 6   | 1.0%   |
|     | 合計            | 599 | 100.0% |



⑥ 居住地区別×性別・年代別

|       | 合計     | 性別     |       |       | 年代別  |       |       |       |       |       |
|-------|--------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       |        | 男性     | 女性    | 無回答   | 20歳代 | 30歳代  | 40歳代  | 50歳代  | 60歳代  | 70歳以上 |
| 全体    | 597    | 253    | 340   | 4     | 40   | 64    | 84    | 136   | 158   | 115   |
|       | 100.0% | 42.4%  | 57.0% | 0.7%  | 6.7% | 10.7% | 14.1% | 22.8% | 26.5% | 19.3% |
| 居住地区別 | 国分地区   | 158    | 86    | 1     | 12   | 22    | 26    | 39    | 31    | 28    |
|       |        | 100.0% | 44.9% | 54.4% | 0.6% | 7.6%  | 13.9% | 16.5% | 24.7% | 19.6% |
|       | 溝辺地区   | 77     | 43    | -     | 5    | 8     | 15    | 21    | 16    | 12    |
|       |        | 100.0% | 44.2% | 55.8% | -    | 6.5%  | 10.4% | 19.5% | 27.3% | 20.8% |
|       | 横川地区   | 54     | 31    | -     | 4    | 6     | 8     | 11    | 13    | 12    |
|       |        | 100.0% | 42.6% | 57.4% | -    | 7.4%  | 11.1% | 14.8% | 20.4% | 24.1% |
|       | 牧園地区   | 72     | 40    | 2     | 5    | 5     | 6     | 13    | 30    | 13    |
|       |        | 100.0% | 41.7% | 55.6% | 2.8% | 6.9%  | 6.9%  | 8.3%  | 18.1% | 41.7% |
| 霧島地区  | 75     | 41     | 1     | 2     | 6    | 4     | 19    | 24    | 20    |       |
|       | 100.0% | 44.0%  | 54.7% | 1.3%  | 2.7% | 8.0%  | 5.3%  | 25.3% | 32.0% |       |
| 隼人地区  | 102    | 61     | -     | 9     | 11   | 16    | 20    | 26    | 20    |       |
|       | 100.0% | 40.2%  | 59.8% | -     | 8.8% | 10.8% | 15.7% | 19.6% | 25.5% |       |
| 福山地区  | 59     | 38     | -     | 3     | 6    | 9     | 13    | 18    | 10    |       |
|       | 100.0% | 35.6%  | 64.4% | -     | 5.1% | 10.2% | 15.3% | 22.0% | 30.5% |       |

※属性別では、無回答を除いて集計している。以下同様。

図表に示している単純集計のNは回答総数のことである。複数回答などの場合は回答が2つ以上ありうるため、構成比は100%を超える。構成比は、Nを100%として算出し、本文及び図表中では小数第二位を四捨五入して小数第一位まで示した。このため構成比の合計が100%にならない場合がある。

## (2) 調査結果

### 1) 本市が保有する公共施設の利用状況

#### ① 施設種類別の認知度

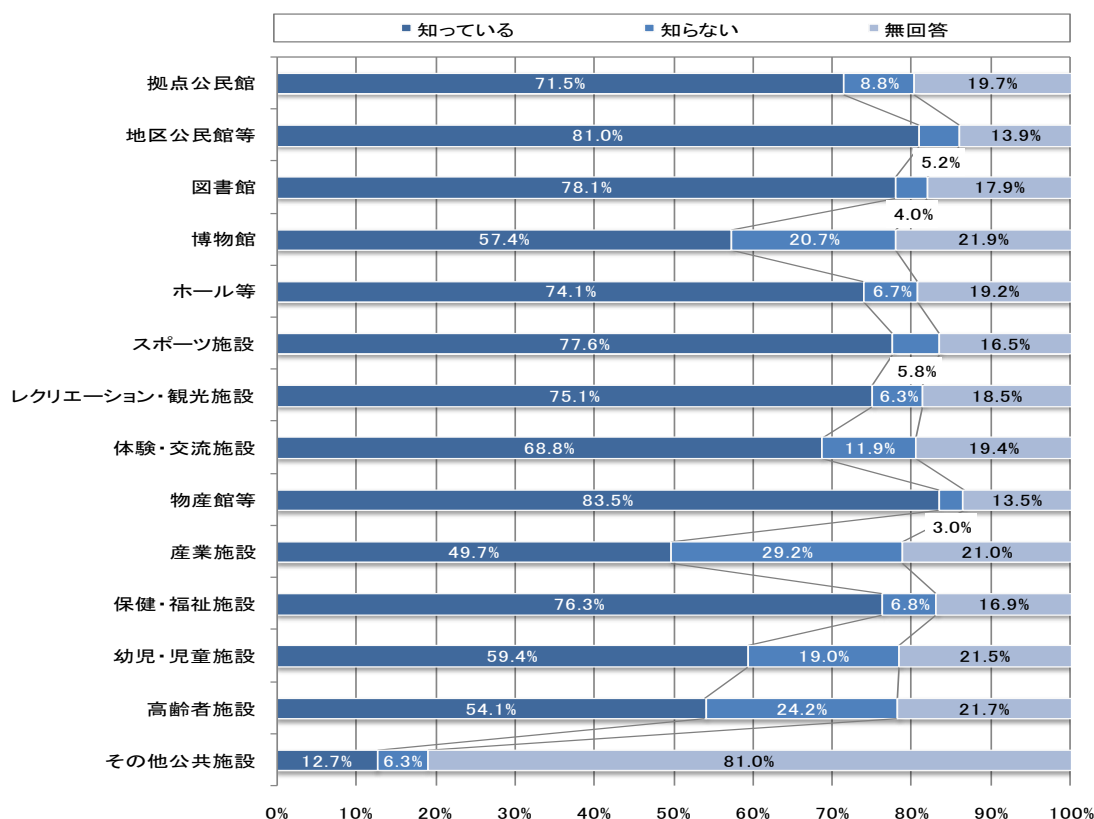
本市の公共施設の存在を知っていると回答した人の割合は、「物産館等」が 83.5%で最も多く、次いで「地区公民館等」が 81.0%、「図書館」が 78.1%の順となっている。その一方で、「産業施設」、「高齢者施設」、「博物館」、「幼児・児童施設」については知っていると回答した人の割合が 6 割を下回る。「産業施設」、「高齢者施設」、「博物館」は知らないと回答した人の割合が 2 割を超え、他施設に比べ多くなっている。

性別でみると、男女とも、知っていると回答した人の割合が多い公共施設は「物産館等」「地区公民館等」の他、女性では「図書館」も 8 割を超えている。一方、知らないと回答した人の割合が多い公共施設は、男性では「博物館」が最も多くなっている。

年代別でみると、20 歳代と 40 歳代では、知っていると回答した人の割合が多い公共施設は「図書館」が最も多く、20 歳代では、「ホール等」の割合も他年代に比べて多くなっている。知らないと回答した人の割合が多い公共施設は、全ての年代で「産業施設」が最も多くなっている。

居住地区別でみると、知っていると回答した人の割合が多い公共施設は、国分地区では「図書館」が、他地区に比べ多くなっている。一方、知らないと回答した人の割合が多い公共施設は、牧園地区で「図書館」、福山地区で「保健・福祉施設」が他地区に比べ多くなっている。

[施設種類別の認知度 (N=599)]





[性別・年代別・居住地区別 知っている と 回答した人の割合が多い公共施設（上位5位）]

| 区分         |               | 1位              | 2位                               | 3位  | 4位                             | 5位                                     |
|------------|---------------|-----------------|----------------------------------|---|--------------------------------|--|
| 全体 (N=599) |               | 物産館等<br>83.5%   | 地区公民館等<br>81.0%                  | 図書館<br>78.1%                              | スポーツ施設<br>77.6%                | 保健・福祉施設<br>76.3%                       |
| 性別         | 男性 (N=254)    | 地区公民館等<br>81.9% | 物産館等<br>81.5%                    | スポーツ施設<br>79.9%                           | 保健・福祉施設<br>76.4%               | 図書館<br>75.6%<br>レクリエーション・観光施設<br>75.6% |
|            | 女性 (N=340)    | 物産館等<br>85.6%   | 地区公民館等<br>80.6%<br>図書館<br>80.6%  |   | 保健・福祉施設<br>76.8%               | スポーツ施設<br>76.5%                        |
| 年代別        | 20歳代 (N=40)   | 図書館<br>85.0%    | ホール等<br>82.5%                    | 物産館等<br>80.0%<br>レクリエーション・観光施設<br>80.0%   |                                | スポーツ施設<br>77.5%                        |
|            | 30歳代 (N=64)   | 物産館等<br>89.1%   | 図書館<br>87.5%                     | スポーツ施設<br>82.8%<br>レクリエーション・観光施設<br>82.8% |                                | 保健・福祉施設<br>81.3%                       |
|            | 40歳代 (N=84)   | 図書館<br>88.1%    | 物産館等<br>86.9%<br>スポーツ施設<br>86.9% |   | 地区公民館等<br>85.7%                | 保健・福祉施設<br>82.1%                       |
|            | 50歳代 (N=136)  | 地区公民館等<br>91.2% | 物産館等<br>87.5%                    | 図書館<br>84.6%                              | 保健・福祉施設<br>83.1%               | ホール等<br>82.4%                          |
|            | 60歳代 (N=158)  | 物産館等<br>86.1%   | 地区公民館等<br>84.8%                  | 拠点公民館<br>77.8%                            | レクリエーション・観光施設<br>75.9%         | スポーツ施設<br>75.3%                        |
|            | 70歳以上 (N=116) | 物産館等<br>70.7%   | スポーツ施設<br>69.8%                  | 地区公民館等<br>67.2%                           | 保健・福祉施設<br>66.4%               | 図書館<br>62.1%                           |
| 居住地区別      | 国分地区 (N=158)  | 図書館<br>87.3%    | 物産館等<br>84.2%<br>スポーツ施設<br>84.2% |   | 保健・福祉施設<br>81.6%               | 地区公民館等<br>79.7%                        |
|            | 溝辺地区 (N=77)   | 物産館等<br>88.3%   | 地区公民館等<br>83.1%                  | ホール等<br>81.8%                             | レクリエーション・観光施設<br>79.2%         | スポーツ施設<br>77.9%<br>保健・福祉施設<br>77.9%    |
|            | 横川地区 (N=54)   | 物産館等<br>92.6%   | 地区公民館等<br>87.0%                  | レクリエーション・観光施設<br>83.3%                    | 図書館<br>81.5%<br>拠点公民館<br>81.5% |  |
|            | 牧園地区 (N=72)   | 地区公民館等<br>80.6% | 保健・福祉施設<br>75.0%                 | 物産館等<br>73.6%                             | スポーツ施設<br>72.2%                | レクリエーション・観光施設<br>69.4%                 |
|            | 霧島地区 (N=75)   | 地区公民館等<br>77.3% | 物産館等<br>73.3%                    | スポーツ施設<br>72.0%<br>保健・福祉施設<br>72.0%       |                                | 図書館<br>70.7%                           |
|            | 隼人地区 (N=102)  | 物産館等<br>84.3%   | 図書館<br>83.3%                     | 地区公民館等<br>77.5%                           | 保健・福祉施設<br>76.5%               | スポーツ施設<br>75.5%                        |
|            | 福山地区 (N=59)   | 物産館等<br>89.8%   | 地区公民館等<br>86.4%                  | 図書館<br>78.0%<br>拠点公民館<br>78.0%            |                                | スポーツ施設<br>76.3%                        |

※その他の公共施設は除く。以下同様。

[性別・年代別・居住地区別 知らない と 回答した人の割合が多い公共施設（上位5位）]

| 区分         |               | 1位               | 2位                                 | 3位                                 | 4位               | 5位                                   |
|------------|---------------|------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------|--------------------------------------|
| 全体 (N=599) |               | 産業施設<br>29.2%    | 高齢者施設<br>24.2%                     | 博物館<br>20.7%                       | 幼児・児童施設<br>19.0% | 体験・交流施設<br>11.9%                     |
| 性別         | 男性 (N=254)    | 博物館<br>25.2%     | 産業施設<br>23.6%                      | 高齢者施設<br>20.1%                     | 幼児・児童施設<br>19.3% | 体験・交流施設<br>13.8%                     |
|            | 女性 (N=340)    | 産業施設<br>33.8%    | 高齢者施設<br>27.4%                     | 幼児・児童施設<br>18.8%                   | 博物館<br>17.6%     | 体験・交流施設<br>10.6%                     |
| 年代別        | 20歳代 (N=40)   | 産業施設<br>50.0%    | 博物館<br>37.5%                       | 高齢者施設<br>32.5%<br>幼児・児童施設<br>32.5% |                  | 体験・交流施設<br>25.0%<br>保健・福祉施設<br>25.0% |
|            | 30歳代 (N=64)   | 産業施設<br>42.2%    | 高齢者施設<br>35.9%                     | 博物館<br>26.6%                       | 拠点公民館<br>23.4%   | 幼児・児童施設<br>21.9%                     |
|            | 40歳代 (N=84)   | 産業施設<br>39.3%    | 高齢者施設<br>34.5%                     | 幼児・児童施設<br>25.0%                   | 博物館<br>21.4%     | 体験・交流施設<br>19.9%                     |
|            | 50歳代 (N=136)  | 産業施設<br>29.4%    | 高齢者施設<br>24.3%                     | 博物館<br>21.3%                       | 幼児・児童施設<br>12.5% | 体験・交流施設<br>9.6%                      |
|            | 60歳代 (N=158)  | 産業施設<br>22.2%    | 幼児・児童施設<br>19.6%                   | 高齢者施設<br>18.4%                     | 博物館<br>17.7%     | 体験・交流施設<br>10.1%                     |
|            | 70歳以上 (N=116) | 産業施設<br>17.2%    | 高齢者施設<br>15.5%<br>幼児・児童施設<br>15.5% |                                    | 博物館<br>14.7%     | レクリエーション・観光施設<br>8.6%                |
| 居住地区別      | 国分地区 (N=158)  | 産業施設<br>37.3%    | 高齢者施設<br>30.4%                     | 博物館<br>22.8%                       | 幼児・児童施設<br>20.3% | 拠点公民館<br>15.2%                       |
|            | 溝辺地区 (N=77)   | 高齢者施設<br>37.7%   | 博物館<br>29.9%                       | 産業施設<br>27.3%                      | 幼児・児童施設<br>22.1% | 体験・交流施設<br>19.5%                     |
|            | 横川地区 (N=54)   | 産業施設<br>24.1%    | 高齢者施設<br>18.5%                     | 博物館<br>16.7%                       | 幼児・児童施設<br>13.0% | 体験・交流施設<br>9.3%                      |
|            | 牧園地区 (N=72)   | 博物館<br>27.8%     | 産業施設<br>20.8%                      | 幼児・児童施設<br>18.1%                   | 図書館<br>12.5%     | 高齢者施設<br>11.1%<br>体験・交流施設<br>11.1%   |
|            | 霧島地区 (N=75)   | 産業施設<br>24.0%    | 高齢者施設<br>20.0%                     | 幼児・児童施設<br>18.7%                   | 博物館<br>17.3%     | 拠点公民館<br>9.3%                        |
|            | 隼人地区 (N=102)  | 産業施設<br>37.3%    | 高齢者施設<br>28.4%                     | 幼児・児童施設<br>18.6%                   | 博物館<br>14.7%     | 体験・交流施設<br>12.7%                     |
|            | 福山地区 (N=59)   | 幼児・児童施設<br>20.3% | 産業施設<br>18.6%                      | 博物館<br>13.6%                       | 保健・福祉施設<br>11.9% | 高齢者施設<br>10.2%                       |

※属性別 施設種類別の認知度 集計表は参考資料 29 ページに掲載

② 施設種類別の利用実績の有無

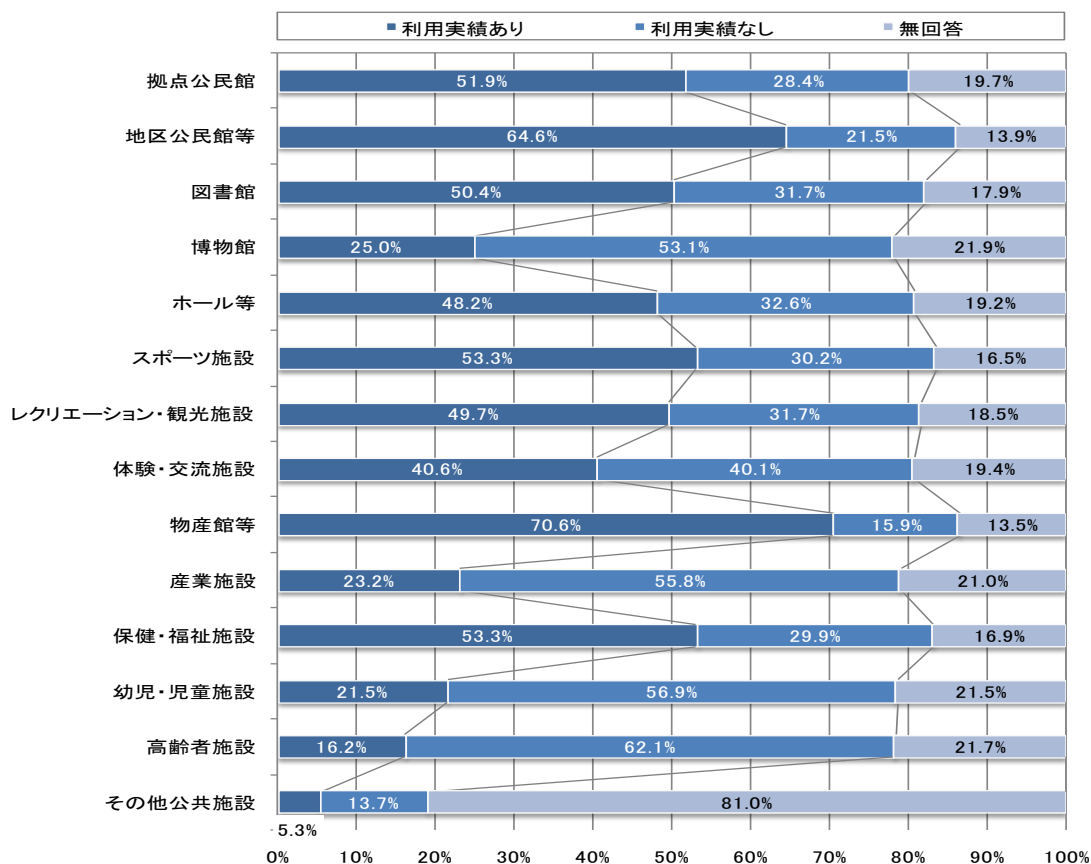
本市の公共施設を利用したことがあると回答した人は「物産館等」が 70.6%で最も多く、次いで「地区公民館等」が 64.6%、「保健・福祉施設」と「スポーツ施設」がともに 53.3%となっている。一方、「高齢者施設」、「幼児・児童施設」、「産業施設」、「博物館」は、利用したことがあると回答した人の割合が 3 割を下回り、利用したことがない人の割合が半数を超えている。

性別でみると、利用したことがあると回答した人の割合が多い公共施設は、性別で大きな違いは見られないが、男性では「図書館」が女性に比べ多くなっている。一方、利用したことがないと回答した人の割合が多い公共施設は、男女とも「高齢者施設」が最も多くなっている。

年代別でみると、利用したことがあると回答した人の割合は、どの年代層でも「物産館等」が上位に挙げられている。それ以外では 20 歳代では「図書館」と「スポーツ施設」、30 歳代～40 歳代では「スポーツ施設」が上位に挙げられている。一方、利用したことがないと回答した人の割合が多い公共施設は、20 歳代～30 歳代で「拠点公民館」、70 歳以上では「図書館」が多くなっている。

居住地区別でみると、全体と大きな違いは見られない。利用したことがあると回答した人の割合が多い公共施設は、どの地区でも「物産館等」が上位に挙げられている。それ以外では国分地区と隼人地区で「図書館」が多くなっている。一方、利用したことがないと回答した人の割合が多い公共施設は、どの地区でも「高齢者施設」や「幼児・児童施設」が挙げられているが、それ以外では溝辺・牧園地区で「図書館」、横川地区で「図書館」と「ホール等」、福山地区では「保健・福祉施設」が多くなっている。

[施設種類別の利用実績の有無 (N=599) ]



[性別・年代別・居住地区別 利用実績ありと回答した人の割合が多い公共施設（上位5位）]

| 区分           |                 | 1位              | 2位               | 3位               | 4位                     | 5位                     |
|--------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------------|------------------------|
| 全体 (N=599)   |                 | 物産館等<br>70.6%   | 地区公民館等<br>64.6%  | スポーツ施設<br>53.3%  | 保健・福祉施設<br>53.3%       | 拠点公民館<br>51.9%         |
| 性別           | 男性 (N=254)      | 物産館等<br>66.1%   | 地区公民館等<br>64.6%  | スポーツ施設<br>53.9%  | 保健・福祉施設<br>50.0%       | 拠点公民館<br>48.8%         |
|              | 女性 (N=340)      | 物産館等<br>74.4%   | 地区公民館等<br>65.0%  | 保健・福祉施設<br>56.2% | 拠点公民館<br>54.7%         | スポーツ施設<br>53.2%        |
| 年代別          | 20歳代 (N=40)     | 図書館<br>67.5%    | 物産館等<br>62.5%    | スポーツ施設<br>62.5%  | ホール等<br>52.5%          | レクリエーション・観光施設<br>52.5% |
|              | 30歳代 (N=64)     | 物産館等<br>75.0%   | スポーツ施設<br>64.1%  | 保健・福祉施設<br>57.8% | レクリエーション・観光施設<br>57.8% | 図書館<br>56.3%           |
|              | 40歳代 (N=84)     | 物産館等<br>76.2%   | スポーツ施設<br>67.9%  | 地区公民館等<br>66.7%  | 図書館<br>66.7%           | 保健・福祉施設<br>61.9%       |
|              | 50歳代 (N=136)    | 地区公民館等<br>77.2% | 物産館等<br>76.5%    | 拠点公民館<br>65.4%   | 図書館<br>60.3%           | 保健・福祉施設<br>58.8%       |
|              | 60歳代 (N=158)    | 物産館等<br>72.8%   | 地区公民館等<br>67.7%  | 拠点公民館<br>52.5%   | 保健・福祉施設<br>47.5%       | スポーツ施設<br>43.0%        |
|              | 70歳以上 (N=116)   | 物産館等<br>56.9%   | 地区公民館等<br>56.9%  | 保健・福祉施設<br>47.4% | スポーツ施設<br>44.0%        | 拠点公民館<br>40.5%         |
|              | 居住地区別           | 国分地区 (N=158)    | 物産館等<br>68.4%    | 図書館<br>65.8%     | スポーツ施設<br>63.0%        | 保健・福祉施設<br>62.0%       |
| 溝辺地区 (N=77)  | 物産館等<br>76.6%   | 地区公民館等<br>64.9% | 保健・福祉施設<br>58.4% | ホール等<br>57.1%    | 拠点公民館<br>55.8%         |                        |
| 横川地区 (N=54)  | 物産館等<br>85.2%   | 地区公民館等<br>66.7% | 拠点公民館<br>64.8%   | 保健・福祉施設<br>55.6% | レクリエーション・観光施設<br>53.7% |                        |
| 牧園地区 (N=72)  | 地区公民館等<br>72.2% | 物産館等<br>59.7%   | 拠点公民館<br>48.6%   | スポーツ施設<br>47.2%  | 保健・福祉施設<br>45.8%       |                        |
| 霧島地区 (N=75)  | 地区公民館等<br>64.0% | 物産館等<br>60.0%   | 保健・福祉施設<br>53.3% | 拠点公民館<br>52.0%   | スポーツ施設<br>44.0%        |                        |
| 隼人地区 (N=102) | 物産館等<br>71.6%   | 図書館<br>58.8%    | 地区公民館等<br>57.8%  | 保健・福祉施設<br>54.9% | スポーツ施設<br>52.0%        |                        |
| 福山地区 (N=59)  | 物産館等<br>79.7%   | 地区公民館等<br>74.6% | 拠点公民館<br>61.0%   | スポーツ施設<br>47.5%  | 図書館<br>44.1%           |                        |

[性別・年代別・居住地区別 利用実績なしと回答した人の割合が多い公共施設（上位5位）]

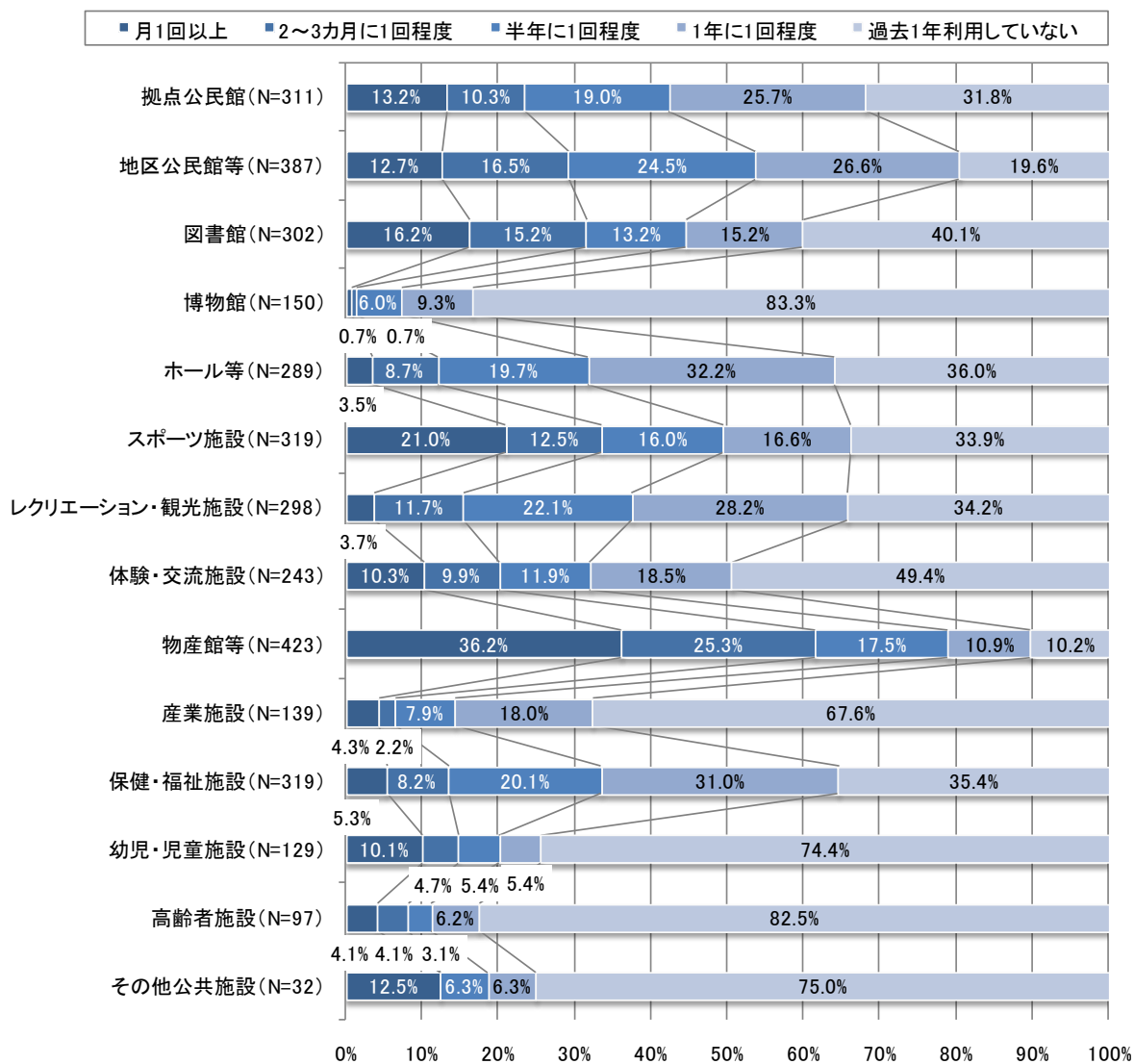
| 区分           |                  | 1位               | 2位               | 3位               | 4位               | 5位               |
|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 全体 (N=599)   |                  | 高齢者施設<br>62.1%   | 幼児・児童施設<br>56.9% | 産業施設<br>55.8%    | 博物館<br>53.1%     | 体験・交流施設<br>40.1% |
| 性別           | 男性 (N=254)       | 高齢者施設<br>58.7%   | 幼児・児童施設<br>53.9% | 産業施設<br>53.1%    | 博物館<br>52.8%     | 体験・交流施設<br>48.0% |
|              | 女性 (N=340)       | 高齢者施設<br>65.0%   | 幼児・児童施設<br>59.4% | 産業施設<br>58.5%    | 博物館<br>53.8%     | 体験・交流施設<br>34.4% |
| 年代別          | 20歳代 (N=40)      | 高齢者施設<br>70.0%   | 幼児・児童施設<br>70.0% | 博物館<br>67.5%     | 体験・交流施設<br>47.5% | 拠点公民館<br>47.5%   |
|              | 30歳代 (N=64)      | 高齢者施設<br>78.1%   | 産業施設<br>71.9%    | 博物館<br>67.2%     | 幼児・児童施設<br>51.6% | 体験・交流施設<br>48.4% |
|              | 40歳代 (N=84)      | 高齢者施設<br>73.8%   | 産業施設<br>67.9%    | 博物館<br>60.7%     | 幼児・児童施設<br>59.5% | 体験・交流施設<br>36.9% |
|              | 50歳代 (N=136)     | 高齢者施設<br>64.7%   | 幼児・児童施設<br>58.1% | 産業施設<br>54.4%    | 博物館<br>51.9%     | 体験・交流施設<br>41.8% |
|              | 60歳代 (N=158)     | 幼児・児童施設<br>62.0% | 高齢者施設<br>58.9%   | 産業施設<br>52.5%    | 博物館<br>51.9%     | 図書館<br>31.9%     |
|              | 70歳以上 (N=116)    | 幼児・児童施設<br>45.7% | 高齢者施設<br>43.1%   | 博物館<br>41.4%     | 産業施設<br>39.7%    | 体験・交流施設<br>31.9% |
|              | 居住地区別            | 国分地区 (N=158)     | 高齢者施設<br>69.0%   | 産業施設<br>65.2%    | 幼児・児童施設<br>60.8% | 博物館<br>55.1%     |
| 溝辺地区 (N=77)  | 高齢者施設<br>70.1%   | 博物館<br>61.0%     | 幼児・児童施設<br>59.7% | 産業施設<br>50.6%    | 図書館<br>41.6%     |                  |
| 横川地区 (N=54)  | 高齢者施設<br>59.3%   | 幼児・児童施設<br>57.4% | 博物館<br>55.6%     | 産業施設<br>50.0%    | ホール等<br>42.6%    |                  |
| 牧園地区 (N=72)  | 幼児・児童施設<br>51.4% | 産業施設<br>50.0%    | 博物館<br>50.0%     | 高齢者施設<br>48.6%   | 体験・交流施設<br>36.1% |                  |
| 霧島地区 (N=75)  | 博物館<br>53.3%     | 高齢者施設<br>50.7%   | 産業施設<br>46.7%    | 幼児・児童施設<br>45.3% | 体験・交流施設<br>41.3% |                  |
| 隼人地区 (N=102) | 高齢者施設<br>66.7%   | 産業施設<br>60.8%    | 幼児・児童施設<br>58.8% | 博物館<br>45.1%     | 体験・交流施設<br>43.1% |                  |
| 福山地区 (N=59)  | 幼児・児童施設<br>61.0% | 高齢者施設<br>59.3%   | 産業施設<br>54.2%    | 博物館<br>54.2%     | 保健・福祉施設<br>52.5% |                  |

※属性別 施設種類別の利用実績の有無 集計表は参考資料 42 ページに掲載

### ③ 施設種類別の利用頻度

利用したことがあると回答した人の利用頻度をみると、「物産館等」では「月1回以上」、「地区公民館等」では「1年に1回程度」がそれぞれ最も多くなっているが、その他の施設では全て「過去1年利用していない」が最も多くなっている。

【施設種類別の利用頻度】（利用したことがあると回答した人のみ）



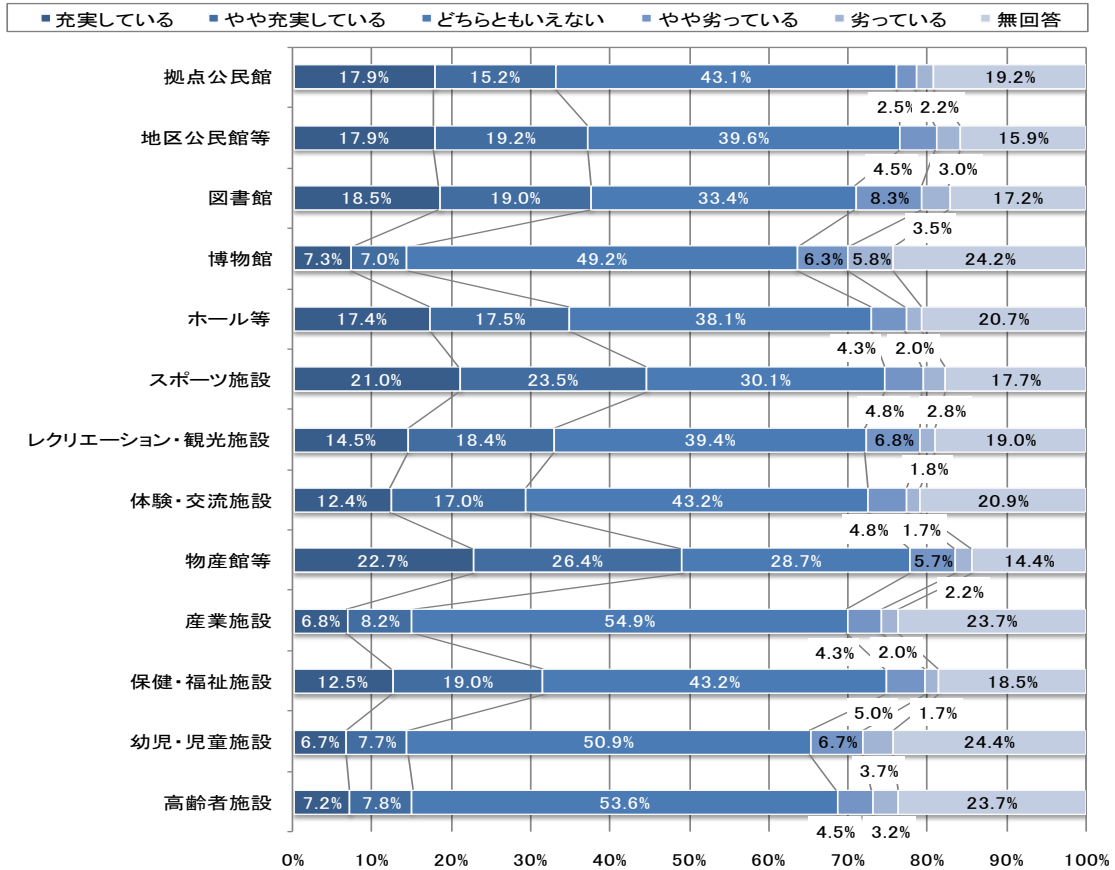
2) 本市における公共施設の現状、今後の方向性に関する認識

① 本市の公共施設の量やサービス内容に対する充実度について

本市の公共施設の量やサービス内容に対する充実度については、どの施設でも「どちらともいえない」が最も多くなっている。

また、「充実している」と「やや充実している」の合計の割合をみると、「物産館等」と「スポーツ施設」では4割を超え、「やや劣っている」と「劣っている」の合計の割合を大きく上回っている。

[公共施設の量やサービス内容に対する充実度について (N=599)]

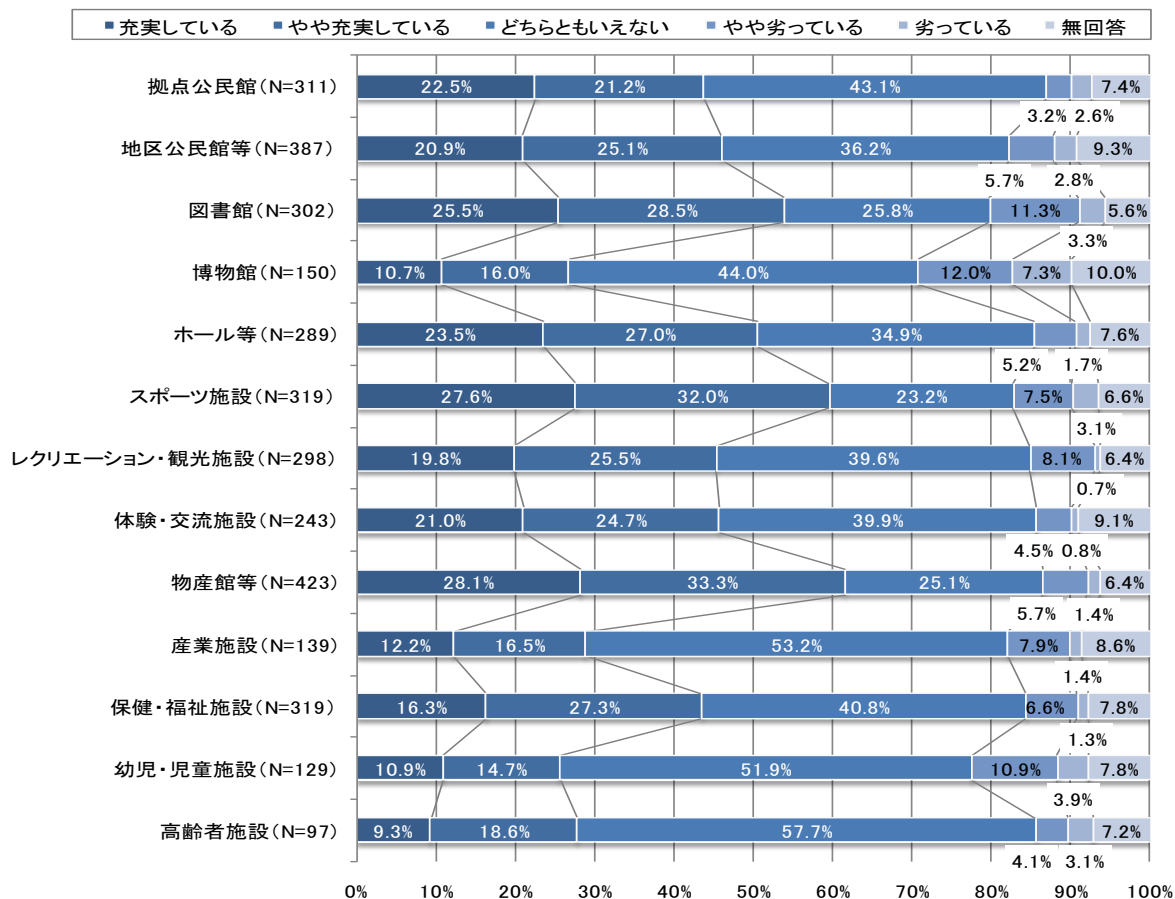


| 区分            | 合計  | 充実している+やや充実しているの合計 |          |           | どちらともいえない | やや劣っている+劣っているの合計 |       |    | 無回答 |
|---------------|-----|--------------------|----------|-----------|-----------|------------------|-------|----|-----|
|               |     | 充実している             | やや充実している | どちらともいえない |           | やや劣っている          | 劣っている |    |     |
| 拠点公民館         | 599 | 198                | 107      | 91        | 258       | 28               | 15    | 13 | 115 |
| 地区公民館等        | 599 | 222                | 107      | 115       | 237       | 45               | 27    | 18 | 95  |
| 図書館           | 599 | 225                | 111      | 114       | 200       | 71               | 50    | 21 | 103 |
| 博物館           | 599 | 86                 | 44       | 42        | 295       | 73               | 38    | 35 | 145 |
| ホール等          | 599 | 209                | 104      | 105       | 228       | 38               | 26    | 12 | 124 |
| スポーツ施設        | 599 | 267                | 126      | 141       | 180       | 46               | 29    | 17 | 106 |
| レクリエーション・観光施設 | 599 | 197                | 87       | 110       | 236       | 52               | 41    | 11 | 114 |
| 体験・交流施設       | 599 | 176                | 74       | 102       | 259       | 39               | 29    | 10 | 125 |
| 物産館等          | 599 | 294                | 136      | 158       | 172       | 47               | 34    | 13 | 86  |
| 産業施設          | 599 | 90                 | 41       | 49        | 329       | 38               | 26    | 12 | 142 |
| 保健・福祉施設       | 599 | 189                | 75       | 114       | 259       | 40               | 30    | 10 | 111 |
| 幼児・児童施設       | 599 | 86                 | 40       | 46        | 305       | 62               | 40    | 22 | 146 |
| 高齢者施設         | 599 | 90                 | 43       | 47        | 321       | 46               | 27    | 19 | 142 |

各施設を利用したことがあると回答した人の、公共施設の量やサービス内容に対する充実度について、「充実している」と「やや充実している」の合計の割合が多いのは「物産館等」で

61.4%、次いで「スポーツ施設」で 59.6%、「図書館」で 54.0%の順となっている。一方、「やや劣っている」と「劣っている」の合計の割合は、「博物館」が 19.3%と、他施設に比べて多くなっている。

[公共施設の量やサービス内容に対する充実度について] (利用したことがあると回答した人のみ)



| 区分            | 合計     | 充実している+やや充実しているの合計 |          |       | どちらともいえない | やや劣っている+劣っているの合計 |       |      | 無回答   |
|---------------|--------|--------------------|----------|-------|-----------|------------------|-------|------|-------|
|               |        | 充実している             | やや充実している | 合計    |           | やや劣っている          | 劣っている | 合計   |       |
| 拠点公民館         | 311    | 136                | 70       | 66    | 134       | 18               | 10    | 8    | 23    |
|               | 100.0% | 43.7%              | 22.5%    | 21.2% | 43.1%     | 5.8%             | 3.2%  | 2.6% | 7.4%  |
| 地区公民館等        | 387    | 178                | 81       | 97    | 140       | 33               | 22    | 11   | 36    |
|               | 100.0% | 46.0%              | 20.9%    | 25.1% | 36.2%     | 8.5%             | 5.7%  | 2.8% | 9.3%  |
| 図書館           | 302    | 163                | 77       | 86    | 78        | 44               | 34    | 10   | 17    |
|               | 100.0% | 54.0%              | 25.5%    | 28.5% | 25.8%     | 14.6%            | 11.3% | 3.3% | 5.6%  |
| 博物館           | 150    | 40                 | 16       | 24    | 66        | 29               | 18    | 11   | 15    |
|               | 100.0% | 26.7%              | 10.7%    | 16.0% | 44.0%     | 19.3%            | 12.0% | 7.3% | 10.0% |
| ホール等          | 289    | 146                | 68       | 78    | 101       | 20               | 15    | 5    | 22    |
|               | 100.0% | 50.5%              | 23.5%    | 27.0% | 34.9%     | 6.9%             | 5.2%  | 1.7% | 7.6%  |
| スポーツ施設        | 319    | 190                | 88       | 102   | 74        | 34               | 24    | 10   | 21    |
|               | 100.0% | 59.6%              | 27.6%    | 32.0% | 23.2%     | 10.7%            | 7.5%  | 3.1% | 6.6%  |
| レクリエーション・観光施設 | 298    | 135                | 59       | 76    | 118       | 26               | 24    | 2    | 19    |
|               | 100.0% | 45.3%              | 19.8%    | 25.5% | 39.6%     | 8.7%             | 8.1%  | 0.7% | 6.4%  |
| 体験・交流施設       | 243    | 111                | 51       | 60    | 97        | 13               | 11    | 2    | 22    |
|               | 100.0% | 45.7%              | 21.0%    | 24.7% | 39.9%     | 5.3%             | 4.5%  | 0.8% | 9.1%  |
| 物産館等          | 423    | 260                | 119      | 141   | 106       | 30               | 24    | 6    | 27    |
|               | 100.0% | 61.5%              | 28.1%    | 33.3% | 25.1%     | 7.1%             | 5.7%  | 1.4% | 6.4%  |
| 産業施設          | 139    | 40                 | 17       | 23    | 74        | 13               | 11    | 2    | 12    |
|               | 100.0% | 28.8%              | 12.2%    | 16.5% | 53.2%     | 9.4%             | 7.9%  | 1.4% | 8.6%  |
| 保健・福祉施設       | 319    | 139                | 52       | 87    | 130       | 25               | 21    | 4    | 25    |
|               | 100.0% | 43.6%              | 16.3%    | 27.3% | 40.8%     | 7.8%             | 6.6%  | 1.3% | 7.8%  |
| 幼児・児童施設       | 129    | 33                 | 14       | 19    | 67        | 19               | 14    | 5    | 10    |
|               | 100.0% | 25.6%              | 10.9%    | 14.7% | 51.9%     | 14.7%            | 10.9% | 3.9% | 7.8%  |
| 高齢者施設         | 97     | 27                 | 9        | 18    | 56        | 7                | 4     | 3    | 7     |
|               | 100.0% | 27.8%              | 9.3%     | 18.6% | 57.7%     | 7.2%             | 4.1%  | 3.1% | 7.2%  |

② 公共施設を維持していくための方策について

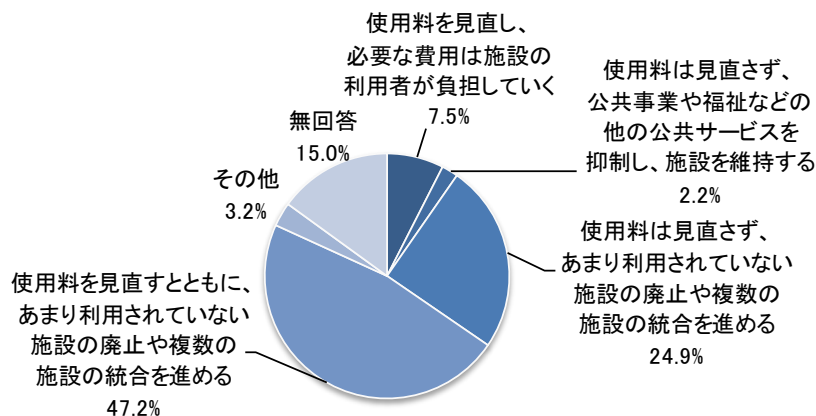
公共施設により提供されるサービスを維持していくための方策について、「使用料を見直す



とともに、あまり利用されていない施設の廃止や複数の施設の統合を進める」と回答した人の割合が 47.2%と最も多い。次いで「使用料は見直さず、あまり利用されていない施設の廃止や複数の施設の統合を進める」が 24.9%、「使用料を見直し、必要な費用は施設の利用者が負担していく」が 7.5%の順となっている。

属性別にみると、性別、年代別、居住地区別、家族構成別、職業別の概ね全てで「使用料を見直すとともに、あまり利用されていない施設の廃止や複数の施設の統合を進める」が最も多くなっている。

[公共施設を維持していくための方策について (N=599) ]



| No. | カテゴリ                                      | 件数  | 構成比    |
|-----|---|-----|--------|
| 1   | 使用料を見直し、必要な費用は施設の利用者が負担していく               | 45  | 7.5%   |
| 2   | 使用料は見直さず、公共事業や福祉などの他の公共サービスを抑制し、施設を維持する   | 13  | 2.2%   |
| 3   | 使用料は見直さず、あまり利用されていない施設の廃止や複数の施設の統合を進める    | 149 | 24.9%  |
| 4   | 使用料を見直すとともに、あまり利用されていない施設の廃止や複数の施設の統合を進める | 283 | 47.2%  |
| 5   | その他                                       | 19  | 3.2%   |
|     | 無回答                                       | 90  | 15.0%  |
|     | 合計  | 599 | 100.0% |

[属性別 公共施設を維持していくための方策について]

| 区分    |                     | 合計            | 利用者が負担していく<br>必要な費用は施設の<br>使用料を見直し、 | 他の公共サービスなどの<br>施設を維持する<br>公共事業や福祉などの<br>使用料は見直さず、 | 施設の廃止や複数の施設の<br>あまり利用されていない<br>施設を進める<br>施設を進める | 使用料を見直すとともに、<br>あまり利用されてい<br>施設の廃止や複数の<br>施設を進める | その他        | 無回答         |
|-------|---------------------|---------------|-------------------------------------|---|---|--|------------|-------------|
| 全体    |                     | 599<br>100.0% | 45<br>7.5%                          | 13<br>2.2%  | 149<br>24.9%                                    | 283<br>47.2%                                     | 19<br>3.2% | 90<br>15.0% |
| 性別    | 男性                  | 254<br>100.0% | 20<br>7.9%                          | 5<br>2.0%   | 62<br>24.4%                                     | 114<br>44.9%                                     | 9<br>3.5%  | 44<br>17.3% |
|       | 女性                  | 340<br>100.0% | 24<br>7.1%                          | 8<br>2.4%   | 86<br>25.3%                                     | 167<br>49.1%                                     | 10<br>2.9% | 45<br>13.2% |
| 年代別   | 20歳代                | 40<br>100.0%  | 4<br>10.0%                          | 0<br>0.0%   | 6<br>15.0%                                      | 20<br>50.0%                                      | 3<br>7.5%  | 7<br>17.5%  |
|       | 30歳代                | 64<br>100.0%  | 4<br>6.3%                           | 0<br>0.0%   | 23<br>35.9%                                     | 34<br>53.1%                                      | 0<br>0.0%  | 3<br>4.7%   |
|       | 40歳代                | 84<br>100.0%  | 5<br>6.0%                           | 3<br>3.6%   | 26<br>31.0%                                     | 41<br>48.8%                                      | 4<br>4.8%  | 5<br>6.0%   |
|       | 50歳代                | 136<br>100.0% | 10<br>7.4%                          | 2<br>1.5%   | 27<br>19.9%                                     | 74<br>54.4%                                      | 6<br>4.4%  | 17<br>12.5% |
|       | 60歳代                | 158<br>100.0% | 6<br>3.8%                           | 5<br>3.2%   | 37<br>23.4%                                     | 79<br>50.0%                                      | 4<br>2.5%  | 27<br>17.1% |
|       | 70歳以上               | 116<br>100.0% | 16<br>13.8%                         | 3<br>2.6%   | 30<br>25.9%                                     | 34<br>29.3%                                      | 2<br>1.7%  | 31<br>26.7% |
| 居住地区別 | 国分地区                | 158<br>100.0% | 12<br>7.6%                          | 2<br>1.3%   | 45<br>28.5%                                     | 73<br>46.2%                                      | 4<br>2.5%  | 22<br>13.9% |
|       | 溝辺地区                | 77<br>100.0%  | 5<br>6.5%                           | 2<br>2.6%   | 24<br>31.2%                                     | 38<br>49.4%                                      | 2<br>2.6%  | 6<br>7.8%   |
|       | 横川地区                | 54<br>100.0%  | 5<br>9.3%                           | 4<br>7.4%   | 12<br>22.2%                                     | 23<br>42.6%                                      | 2<br>3.7%  | 8<br>14.8%  |
|       | 牧園地区                | 72<br>100.0%  | 3<br>4.2%                           | 3<br>4.2%   | 12<br>16.7%                                     | 34<br>47.2%                                      | 2<br>2.8%  | 18<br>25.0% |
|       | 霧島地区                | 75<br>100.0%  | 5<br>6.7%                           | 1<br>1.3%   | 21<br>28.0%                                     | 34<br>45.3%                                      | 4<br>5.3%  | 10<br>13.3% |
|       | 隼人地区                | 102<br>100.0% | 6<br>5.9%                           | 1<br>1.0%   | 21<br>20.6%                                     | 55<br>53.9%                                      | 5<br>4.9%  | 14<br>13.7% |
|       | 福山地区                | 59<br>100.0%  | 8<br>13.6%                          | 0<br>0.0%   | 14<br>23.7%                                     | 25<br>42.4%                                      | 0<br>0.0%  | 12<br>20.3% |
| 家族構成別 | 単身                  | 62<br>100.0%  | 4<br>6.5%                           | 2<br>3.2%   | 18<br>29.0%                                     | 23<br>37.1%                                      | 2<br>3.2%  | 13<br>21.0% |
|       | 夫婦のみ                | 241<br>100.0% | 17<br>7.1%                          | 6<br>2.5%   | 60<br>24.9%                                     | 108<br>44.8%                                     | 3<br>1.2%  | 47<br>19.5% |
|       | 2世代(年齢が最も低い子が中学生以下) | 89<br>100.0%  | 6<br>6.7%                           | 1<br>1.1%   | 26<br>29.2%                                     | 49<br>55.1%                                      | 2<br>2.2%  | 5<br>5.6%   |
|       | 2世代(年齢が最も低い子が高校生以上) | 152<br>100.0% | 14<br>9.2%                          | 3<br>2.0%   | 34<br>22.4%                                     | 72<br>47.4%                                      | 9<br>5.9%  | 20<br>13.2% |
|       | 3世代以上               | 32<br>100.0%  | 3<br>9.4%                           | 0<br>0.0%   | 9<br>28.1%                                      | 17<br>53.1%                                      | 1<br>3.1%  | 2<br>6.3%   |
| 職業別   | 自営業                 | 98<br>100.0%  | 7<br>7.1%                           | 3<br>3.1%   | 26<br>26.5%                                     | 43<br>43.9%                                      | 5<br>5.1%  | 14<br>14.3% |
|       | 勤め人(会社員、公務員等)       | 251<br>100.0% | 14<br>5.6%                          | 3<br>1.2%   | 68<br>27.1%                                     | 130<br>51.8%                                     | 8<br>3.2%  | 28<br>11.2% |
|       | 専業主婦・主夫             | 95<br>100.0%  | 7<br>7.4%                           | 2<br>2.1%   | 19<br>20.0%                                     | 51<br>53.7%                                      | 3<br>3.2%  | 13<br>13.7% |
|       | 学生                  | 5<br>100.0%   | 2<br>40.0%                          | 0<br>0.0%   | 1<br>20.0%                                      | 2<br>40.0%                                       | 0<br>0.0%  | 0<br>0.0%   |
|       | 無職                  | 144<br>100.0% | 15<br>10.4%                         | 5<br>3.5%   | 33<br>22.9%                                     | 53<br>36.8%                                      | 3<br>2.1%  | 35<br>24.3% |



[公共施設を維持していくための方策について その他の意見]

| 居住地区   | 年代     | 性別  | 自由意見   |
|--------|--------|---|--|
| 国分地区   | 30 歳代  | 男性  | 様々な施設があることすら知りませんでした。私のように知らない人が大勢いると思います。もっと施設を使ってもらう人を増やすことも考えてはいかがでしょうか？とくに地区自治会に加入していない世帯(若い世帯、これからを担っていく人たちです)などは利用できる施設があること自体を知らない人が多いと思います。                          |
|        | 40 歳代  | 女性  | よく分かりません。廃止できるものは既に廃止してあるのではないかと思います。合併したから施設が多くなっただけで、国分を拠点に考えると横川は遠いし、牧園は不便になります。  |
|        | 50 歳代  | 男性  | 利用料は見直さず、民間の利用促進はできないものか？<br>民間委託も考慮する。  |
|        | 60 歳代  | 男性  | 目先だけの判断ですることなく、将来を見つめて、公共施設の運営をしてください。霧島市は少子高齢化の進行が予測されているのに逆行して学校建設及び建替えが、ここ数年ありましたが、それも数十年後には・・・になるのではないのでしょうか。現在ある施設を補修して有効に利用したら良いのではないのでしょうか？                           |
|        |        | 女性  | 民営化していく方法を考えていただきたい。<br>使用料は現状でもよいが、利用目的の拡大により市民が多目的に利用しやすい状況にすることによる利用拡大を目指してほしい。<br>無駄なく価値的合理性を考えてほしいです。   |
| 70 歳以上 | 男性     | どこの市町村も人口減少、少子高齢化で公共施設の運営が大変になっていくと思います。今までは国も県もハコモノだけ作り大変でしたが、国も指宿にあるグリーンピアなど大金をかけて、民間に売却して 5 億。これからは、公共施設を維持するのは大変だと思います。日本の大企業でも 10 年前から福祉施設を売却しているのです。市も早めに施設の廃止がよいと思います。 |  |
| 溝辺地区   | 20 歳代  | 女性  | 使用料を見直し、必要な費用を利用者が負担していくと共に、公共事業の見直しが必要。   |
|        | 40 歳代  | 男性  | 使用料・使用頻度・設置エリア・管理体制等、改めて見直し、状況に応じて統廃合を含めて考える。  |
|        | 50 歳代  | 女性  | 1 か所に集中させないで、各支所に 1~2 ずつ分散させて、全体に人の行き来を保つように、寂れたところにも活気づくように工夫してほしい。   |
|        | 70 歳以上 | 男性  | 高齢者が気軽に行って体を動かせる公園があれば良いのに。行く場所が近くにないので家の中に閉じこもる。  |
| 横川地区   | 50 歳代  | 女性  | あまり使用しないので、良くわからない。  |
|        | 60 歳代  | 女性  | 中央(国分・隼人地域)だけに偏らず・・・。中央だけにいろいろ集中し、他の地域はますます高齢化が進んでいき活力がない。   |
| 牧園地区   | 20 歳代  | 女性  | 7 地域に必要な施設は現状維持してほしい。特に過疎化が進む地区(国分・隼人地区外)は平等、同じ使用料ではなく、守ってほしい。そのための合併ではないだろうか。市民みんなが安心して楽しく暮らせる、その地区に必要な施設は、中心部が使用料を上げて守ってもらいたいくらいです。  |
|        | 40 歳代  | 男性  | 無駄な公共施設が多すぎる。税金の無駄遣い、しっかり考えてもらわないと困る。少子化は当たり前のこと。もっとも子供たちのことを考えてほしい。役所の人員削減(ポーっとしているのが多い)、それこそ税金の無駄遣い。人口の割に役所の人員が多い。   |
|        | 50 歳代  | 女性  | 使用料は見直さず、周辺部の施設については、利用人数に限らず維持する。   |
| 霧島地区   | 50 歳代  | 男性  | 党利党略のみ議員同士批判空論。国民にはおいしい事で裏を返せば力の強い者の為の公共事業。これじゃ格差大みんなストレス溜まる一方、作ってくれと言った覚えは全くないと国民から言われたらアウト。賛成した者に甘いから責任があると思う！そちらの方へ、問われたらどうかと当然考える！アダムスミスとかマルクス、ヘーベル等の政治哲学を熟読されたらどうでしょうか。 |
|        |        | 女性  | 3ヶ月前に居住したばかりで殆ど施設は利用していないので、何とも答えようがない。  |

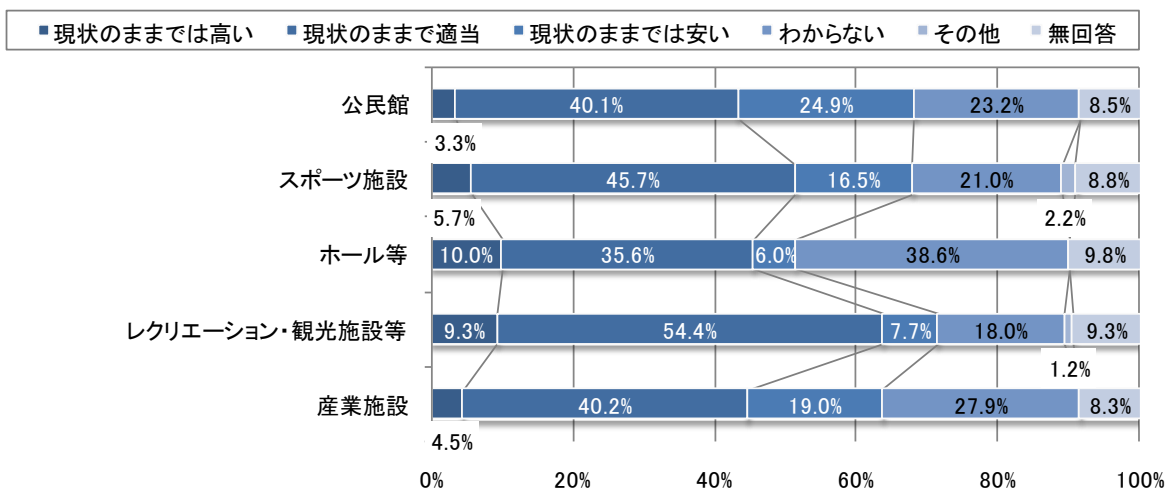
[公共施設を維持していくための方策について その他の意見の続き]

| 居住地区   | 年代     | 性別  | 自由意見   |
|--------|--------|---|--|
| 霧島地区   | 50 歳代  | 女性  | 今回このような機会に恵まれ、市の公共施設を知ることが出来、知らないことも多かったです。個人的な意見ですが、先ず、市民一人一人に理解していただき多くの意見を聞くことも大事なのでは？と思いますが、予算等の関係もあり、このアンケートも全市民(アンケートに答えられる人)には配布されてはいないのでしょうか。そこで、公共施設を知ってもらうためにも、どこの場所に何の名称の施設があり、それは普段どのような目的で、あるいはどのような人々が使用しているという現状をわかりやすい言葉で説明していただけたらありがたいです。皆さまの労力と時間が必要ですが「見直し」を検討されているのなら、施設の中身(内容)がわからずして大事なアンケートに1~4の解答も無責任には出来ません。 |
|        | 60 歳代  | 女性  | 施設運営のあり方の見直し・施設の統合(料金をプラスすると、他の施設も利用できる。)(例えば、プール施設利用後の温泉。シャワーだけはそのまま利用できるが、料金をプラスすると湯船も利用できる。)  |
| 隼人地区   | 20 歳代  | 男性  | 市役所の人数を減らす、役所の人が負担する。  |
|        | 30 歳代  | 女性  | 使いたい施設があれば、使用料は利用者がある程度は負担すれば良いと思います。  |
|        | 40 歳代  | 男性  | 財源は無いのにハコモノを作ってきた結果。淘汰されることは予想して合併を選択したのだから、利用率の悪いところは統合や廃止してしかるべき。合併しなくても財源不足で結果は同じとなったはず。<br>使用料は見直さず、霧島市の人口増加、少子高齢化を遅らせるにはどうしたら良いかを考える。中学生みたいな考え方はしない。  |
|        |        | 女性  | 民間に任せられるところは任せる。例えば、佐賀の武雄市の図書館のように、書店に任せるとか。   |
|        | 50 歳代  | 女性  | 無駄な公共施設が多すぎる。積極的に廃止をすべきである。ほとんど利用したことがなく不便を感じたこともない。税金の無駄づかいはしてほしくない。<br>無駄なものは作らないでほしい。   |
|        |        |   | 学校の空き教室を利用して、高齢者が気軽に来では囲碁や花札、麻雀・将棋、トランプその他、趣味や娯楽を楽しめるスペースを作ったり、乳幼児を連れて親子が来て、遊ばせたり、高齢者と交流できるような、ふれあいの場を作れるといいかなと思います。   |
|        | 60 歳代  | 男性  | 統合した時に、利用者の足の確保などを考慮する必要がある。   |
| 女性     |        | 使用者が著しく少ないものは廃止するにつくる、無駄な税金です。                |  |
| 70 歳以上 | 男性     | 利用状況がわからない。<br>公共の施設は全て無料にすべき。できないところは廃止すること。 |  |
| 福山地区   | 40 歳代  | 女性  | 市街地の利用が多いのは当たり前で、地区(過疎地区)に廃止のしわ寄せのこないよう、居住地区によるサービス・施設のバランスが悪いところを改善してもらわないと、ますます過疎地区が住みづらくなる。   |
|        | 50 歳代  |   | 特に団地は利用されていないところが目立つ。  |
|        | 60 歳代  | 男性  | 市営住宅の空室が目立つ、改善の余地があるのではないかとと思われる。  |
|        | 70 歳以上 |   | 施設の費用は利用者が負担すべき。利用されていない施設は廃止すべき。  |

### ③ 現在の公共施設の使用料の負担について

現在の公共施設の使用料の負担について、「公民館」「スポーツ施設」「レクリエーション・観光施設等」「産業施設」では「現状のままで適当」、「ホール等」では「わからない」と回答した人の割合が、それぞれ最も多くなっている。

[現在の公共施設の使用料の負担について (N=599)]



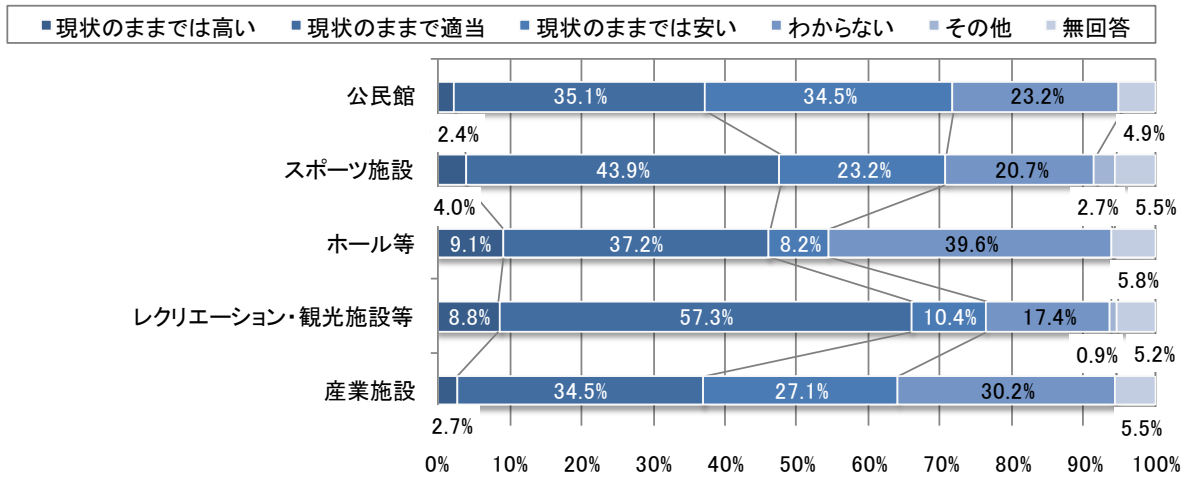
| 区分             | 合計     | 現状のままで高い | 現状のままで適当 | 現状のままで安い | わからない | その他  | 無回答  |
|----------------|--------|----------|----------|----------|-------|------|------|
| 公民館            | 599    | 20       | 240      | 149      | 139   | 0    | 51   |
|                | 100.0% | 3.3%     | 40.1%    | 24.9%    | 23.2% | 0.0% | 8.5% |
| スポーツ施設         | 599    | 34       | 274      | 99       | 126   | 13   | 53   |
|                | 100.0% | 5.7%     | 45.7%    | 16.5%    | 21.0% | 2.2% | 8.8% |
| ホール等           | 599    | 60       | 213      | 36       | 231   | 0    | 59   |
|                | 100.0% | 10.0%    | 35.6%    | 6.0%     | 38.6% | 0.0% | 9.8% |
| レクリエーション・観光施設等 | 599    | 56       | 326      | 46       | 108   | 7    | 56   |
|                | 100.0% | 9.3%     | 54.4%    | 7.7%     | 18.0% | 1.2% | 9.3% |
| 産業施設           | 599    | 27       | 241      | 114      | 167   | 0    | 50   |
|                | 100.0% | 4.5%     | 40.2%    | 19.0%    | 27.9% | 0.0% | 8.3% |

[現在の公共施設の使用料の負担について その他の意見]

| 施設種類               | 居住地区  | 年代    | 性別  | 自由意見  |
|--------------------|-------|-------|---|---|
| スポーツ施設について         | 国分地区  | 40歳代  | 女性  | プールは高すぎる、プール以外は安すぎる。  |
|                    |       |       |   | プールは現状のままでは高い、体育館・庭球場・武道館は現状のままでは安い。                            |
|                    |       |       |   | プールのみ現状のままでは高い。   |
|                    |       | 50歳代  | 男性  | 体育館・庭球場・武道館は現状のままでは適当、プールは高いと思う。                                |
|                    |       |       | 女性  | プールは現状が適当、他施設は現状のままでは安い   |
|                    |       |       | 女性  | プールのみ現状のままでは高い。   |
|                    | 溝辺地区  | 60歳代  | 男性  | 体育館・庭球場は現状のままでは安く、武道館・プールは現状のままでは適当。                            |
|                    | 牧園地区  | 60歳代  | 女性  | プールは現状のままでは高い。  |
|                    | 隼人地区  | 50歳代  | 男性  | 体育館・庭球場・武道館は現状のままでは適当、プールは現状のままでは高い。                            |
|                    |       | 60歳代  | 男性  | 体育館・庭球場・プールは現状のままでは適当、武道館は現状のままでは安い。                            |
|                    |       | 70歳以上 | 男性  | 体育館・庭球場・武道館は現状のままでは安い、プールは現状のままでは適当。                            |
|                    | 福山地区  | 50歳代  | 女性  | プール以外は現状のままでは安い。  |
| -                  | 70歳以上 | 男性    | 体育館は現状のままでは適当、庭球場・武道館・プールは現状のままでは安い。                          |   |
| レクリエーション・観光施設等について | 国分地区  | 40歳代  | 女性  | 観覧車が高すぎる、他はわからない。   |
|                    |       |       |   | 遊覧リフトのみ現状のままでは高い。   |
|                    | 溝辺地区  | 60歳代  | 男性  | 観覧車は現状のままでは安く、ゴーカートは現状のままでは適当、遊覧リフト・パターゴルフ・福山パークゴルフ場は現状のままでは高い。 |
|                    | 横川地区  | 30歳代  | 女性  | パターゴルフは現状のままでは高い。   |
|                    |       | 70歳以上 | 女性  | 観覧車・ゴーカートは現状のままでは適当、遊覧リスト・パターゴルフ・パークゴルフ場はわからない。                 |
|                    | 牧園地区  | 50歳代  | 女性  | 観覧車・ゴーカート・パークゴルフ場は現状のままでは適当、霧島神話の里公園(遊覧リフト・パターゴルフ)は現状のままでは高い。   |
| 隼人地区               | 50歳代  | 男性    | 観覧車・ゴーカート・パークゴルフ場は現状のままでは適当、霧島神話の里公園(遊覧リフト・パターゴルフ)は現状のままでは高い。 |   |

現在の公共施設の使用料の負担について、前設問で使用料を見直すと回答した人(「使用料を見直すとともに、あまり利用されていない施設の廃止や複数の施設の統合を進める」と「使用料を見直し、必要な費用は施設の利用者が負担していく)」でみると、全体の結果に比べて、「現状のままでは安い」と回答した人の割合が公民館では 9.6 ポイント、スポーツ施設では 6.7 ポイント、ホール等では 2.2 ポイント、レクリエーション・観光施設等では 2.7 ポイント、産業施設では 8.1 ポイント、全ての施設で多くなっている。

[現在の公共施設の使用料の負担について (N=328)] (前設問で「利用料を見直す」と回答した人のみ)



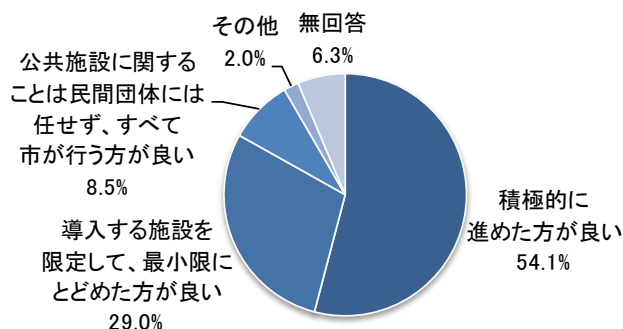
| 区分             | 合計  | 現状のままでは高い | 現状のままでは適当 | 現状のままでは安い | わからない | その他 | 無回答 |
|----------------|-----|-----------|-----------|-----------|-------|-----|-----|
| 公民館            | 328 | 8         | 115       | 113       | 76    | 0   | 16  |
| スポーツ施設         | 328 | 13        | 144       | 76        | 68    | 9   | 18  |
| ホール等           | 328 | 30        | 122       | 27        | 130   | 0   | 19  |
| レクリエーション・観光施設等 | 328 | 29        | 188       | 34        | 57    | 3   | 17  |
| 産業施設           | 328 | 9         | 113       | 89        | 99    | 0   | 18  |

④ 公共施設の管理・運営における委託や指定管理者制度の導入について

公共施設の管理・運営における委託や指定管理者制度の導入について、「積極的に進めた方が良い」と回答した人の割合が 54.1%で最も多い。次いで「導入する施設を限定して、最小限にとどめた方が良い」が 29.0%、「公共施設に関することは民間団体には任せず、すべて市で行う方が良い」が 8.5%となっている。

属性別にみると、性別、年代別、居住地区別、家族構成別、職業別の概ね全てで「積極的に進めた方が良い」が最も多い。なお、年代別でみると、概ね年代層が低くなるほど、「積極的に進めた方が良い」と回答した人の割合が多くなっている。

[委託や指定管理者制度の導入についての考え (N=599) ]



| No. | カテゴリ                             | 件数  | 構成比    |
|-----|----------------------------------|-----|--------|
| 1   | 積極的に進めた方が良い                      | 324 | 54.1%  |
| 2   | 導入する施設を限定して、最小限にとどめた方が良い         | 174 | 29.0%  |
| 3   | 公共施設に関することは民間団体には任せず、すべて市が行う方が良い | 51  | 8.5%   |
| 4   | その他                              | 12  | 2.0%   |
|     | 無回答                              | 38  | 6.3%   |
|     | 合計                               | 599 | 100.0% |

[属性別 公共施設の管理・運営における委託や指定管理者制度の導入について (N=599) ]

| 区分    |                     | 合計            | 進積<br>め極<br>めた<br>方に<br>が良<br>い | と限導<br>ど定入<br>めしす<br>たて<br>る方<br>が最<br>良小<br>を<br>限に | す民公<br>べて間<br>は団施<br>がに設<br>に行は<br>うに<br>任す<br>方せ<br>がず<br>、こ<br>は良<br>い | そ<br>他     | 無<br>回<br>答 |
|-------|---------------------|---------------|---------------------------------|--|--|------------|-------------|
| 全体    |                     | 599<br>100.0% | 324<br>54.1%                    | 174<br>29.0%   | 51<br>8.5%   | 12<br>2.0% | 38<br>6.3%  |
| 性別    | 男性                  | 254<br>100.0% | 147<br>57.9%                    | 63<br>24.8%  | 22<br>8.7%   | 5<br>2.0%  | 17<br>6.7%  |
|       | 女性                  | 340<br>100.0% | 175<br>51.5%                    | 111<br>32.6%   | 27<br>7.9%   | 7<br>2.1%  | 20<br>5.9%  |
| 年代別   | 20歳代                | 40<br>100.0%  | 28<br>70.0%                     | 8<br>20.0%   | 3<br>7.5%  | 0<br>0.0%  | 1<br>2.5%   |
|       | 30歳代                | 64<br>100.0%  | 41<br>64.1%                     | 17<br>26.6%  | 4<br>6.3%  | 1<br>1.6%  | 1<br>1.6%   |
|       | 40歳代                | 84<br>100.0%  | 56<br>66.7%                     | 19<br>22.6%  | 7<br>8.3%  | 1<br>1.2%  | 1<br>1.2%   |
|       | 50歳代                | 136<br>100.0% | 78<br>57.4%                     | 40<br>29.4%  | 7<br>5.1%  | 5<br>3.7%  | 6<br>4.4%   |
|       | 60歳代                | 158<br>100.0% | 80<br>50.6%                     | 49<br>31.0%  | 11<br>7.0%   | 2<br>1.3%  | 16<br>10.1% |
|       | 70歳以上               | 116<br>100.0% | 41<br>35.3%                     | 41<br>35.3%  | 18<br>15.5%  | 3<br>2.6%  | 13<br>11.2% |
| 居住地区別 | 国分地区                | 158<br>100.0% | 96<br>60.8%                     | 46<br>29.1%  | 6<br>3.8%  | 3<br>1.9%  | 7<br>4.4%   |
|       | 溝辺地区                | 77<br>100.0%  | 44<br>57.1%                     | 22<br>28.6%  | 6<br>7.8%  | 3<br>3.9%  | 2<br>2.6%   |
|       | 横川地区                | 54<br>100.0%  | 29<br>53.7%                     | 15<br>27.8%  | 5<br>9.3%  | 1<br>1.9%  | 4<br>7.4%   |
|       | 牧園地区                | 72<br>100.0%  | 38<br>52.8%                     | 19<br>26.4%  | 9<br>12.5%   | 2<br>2.8%  | 4<br>5.6%   |
|       | 霧島地区                | 75<br>100.0%  | 31<br>41.3%                     | 27<br>36.0%  | 8<br>10.7%   | 2<br>2.7%  | 7<br>9.3%   |
|       | 隼人地区                | 102<br>100.0% | 59<br>57.8%                     | 26<br>25.5%  | 11<br>10.8%  | 0<br>0.0%  | 6<br>5.9%   |
|       | 福山地区                | 59<br>100.0%  | 26<br>44.1%                     | 19<br>32.2%  | 5<br>8.5%  | 1<br>1.7%  | 8<br>13.6%  |
| 家族構成別 | 単身                  | 62<br>100.0%  | 28<br>45.2%                     | 21<br>33.9%  | 7<br>11.3%   | 1<br>1.6%  | 5<br>8.1%   |
|       | 夫婦のみ                | 241<br>100.0% | 123<br>51.0%                    | 62<br>25.7%  | 24<br>10.0%  | 5<br>2.1%  | 27<br>11.2% |
|       | 2世代(年齢が最も低い子が中学生以下) | 89<br>100.0%  | 56<br>62.9%                     | 25<br>28.1%  | 5<br>5.6%  | 2<br>2.2%  | 1<br>1.1%   |
|       | 2世代(年齢が最も低い子が高校生以上) | 152<br>100.0% | 87<br>57.2%                     | 44<br>28.9%  | 13<br>8.6%   | 4<br>2.6%  | 4<br>2.6%   |
|       | 3世代以上               | 32<br>100.0%  | 21<br>65.6%                     | 10<br>31.3%  | 1<br>3.1%  | 0<br>0.0%  | 0<br>0.0%   |
| 職業別   | 自営業                 | 98<br>100.0%  | 47<br>48.0%                     | 32<br>32.7%  | 8<br>8.2%  | 3<br>3.1%  | 8<br>8.2%   |
|       | 勤め人(会社員、公務員等)       | 251<br>100.0% | 154<br>61.4%                    | 66<br>26.3%  | 16<br>6.4%   | 5<br>2.0%  | 10<br>4.0%  |
|       | 専業主婦・主夫             | 95<br>100.0%  | 53<br>55.8%                     | 27<br>28.4%  | 8<br>8.4%  | 2<br>2.1%  | 5<br>5.3%   |
|       | 学生                  | 5<br>100.0%   | 4<br>80.0%                      | 1<br>20.0%   | 0<br>0.0%  | 0<br>0.0%  | 0<br>0.0%   |
|       | 無職                  | 144<br>100.0% | 64<br>44.4%                     | 47<br>32.6%  | 17<br>11.8%  | 1<br>0.7%  | 15<br>10.4% |



[公共施設の管理・運営における委託や指定管理者制度の導入について その他の意見]

| 居住地区  | 年代    | 性別 | 自由意見  |
|---|-------|----|---|
| 国分地区  | 20歳代  | 女性 | 積極的に進めたほうが良いが、しっかりと金銭面の管理は市のほうでしてほしい。   |
|   | 30歳代  | 男性 | 積極的に進めたほうが良いが、委託者や指定管理者を毎年見直すようにしないとイケない。毎年同じ人では本当にコスト削減に真剣に取り組んでいるのかわからない。例えば、コスト削減目標に到達したかどうかで来年以降も継続してほしいのか決める、などのようにしないと、市との関係がややふやになってくるので。      |
|   | 50歳代  | 男性 | 委託により、営利目的が強くなって、使用料が上がったり、サービスが低下したりすることが心配である。<br>委託はいいことだが第三者の運営管理委員会的なものも必要。イベントを行うなど積極的に施設が活用されているのかチェックも必要。                                     |
|   | 60歳代  | 女性 | 委託前の市の支出やサービスなどと、委託後との比較がないので分からない。委託費など明白にしてほしい。<br>積極的に進め、裁量のできる範囲を拡げ、市からの支援がなくても運営できるようにしていくことが望ましい。<br>統計を取って無駄なものは省く。                            |
|   | 70歳以上 | 男性 | NPO等に対する過度の信頼や評価は不適と思う。   |
|   |       |    | コストの削減は当たり前だが、サービスが低下してはならない。むしろコストを削減しつつ、サービスは向上するよう努めてほしい。そのために民間団体でも市でも、できるほうがやれば良い。   |
| 市が指定する民間団体に、公共施設の管理運営を代行させたほうが良いと思います。<br>任せっぱなしでは駄目、責任はしっかり市でとるように。<br>利用料金等が上がらないように。 |       |    |   |
| 溝辺地区  | 50歳代  | 男性 | 民間委託されているところは、あまりにも手入れが悪い。受けた以上はもっと整備するべきでは。あまりにも荒れて草が生えている。  |
|   |       | 女性 | 管理や運営は積極的に進めたほうが良いと思いますが、そのために利用者への配慮が欠けたり利用方法が難しくならないように願います。  |
|   | 60歳代  | 女性 | 利用したことがないのでわからない(意見できない)。   |
| 横川地区  | 30歳代  | 女性 | 積極的に進めたほうが良いが、地域に適應するやり方を望みます。<br>利用者数が少なく維持費等管理が大変な施設は市で、収益の見込める施設は民間へお願いしたほうが良いのかなと思います。  |
| 牧園地区  | 20歳代  | 女性 | NPO制や委託は、あまりサービスの面(衛生管理、対応等)で不安が大きい。市の職員の管理が好ましいです。   |
|   | 40歳代  | 女性 | 積極的に進めたほうが良いが、民間団体の運営方針をよく検討して決めてほしい。   |
|   | 50歳代  | 男性 | 全て市が行うのではなく、民間団体に全て任せるのではなく、税金を使っているのでチェックはするべきである。   |
|   |       | 女性 | 霧島高原国民休養地が指定管理者制度にされてから、入場料が必要との話を聞いたのと、桜の花見が以前のようにできない場所になっていると聞いています。花見の季節、草が伸び放題で入り口がわからないのと、通行止め・進入禁止の看板を見ることがあります。何か寂しい場所になっているような気がします。         |
|   | 60歳代  | 女性 | 公共施設は市にお願いします。安全管理がやや劣ってくるように感じます。利用する方も遠慮がちになってしまいます。<br>指定管理者制度導入により、サービスが悪くなったりしているようですので、その点を改善してほしい(例:駐車場がロープなどで入れないようにしてあったり、料金を取ったり。施設によって違う)。 |
| 霧島地区  | 50歳代  | 男性 | いずれにせよ、管理化体制に問題は残る。作ってしまった物は仕方ないけど、議員の勉強のみ!頑張って下さい。   |
|   |       | 女性 | 3ヶ月前に居住したばかりで殆ど施設は利用していないので、何とも答えようがない。   |
| 隼人地区  | 40歳代  | 男性 | ノウハウ・アイデアは導入しても、管理は市で行う方が良い。9時から5時まで、土日は休みという考えはもう止めて良いのでは?<br>管理人等で自衛隊OBや市役所OBを義理や仕方なく雇用する場合は人材を十分検討してほしい。使えない人が多い。市役所でサービス業は無理。                     |
|   | 50歳代  | 男性 | 安心安全も十分考えてください。事故・犯罪も多いのでお願いします。  |



[公共施設の管理・運営における委託や指定管理者制度の導入について その他の意見の続き]

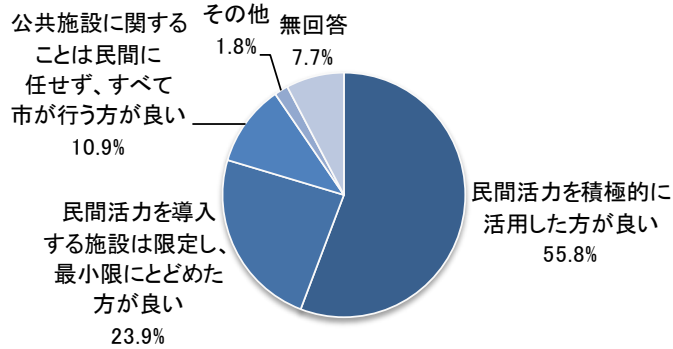
| 居住<br>地区 | 年代       | 性別     | 自由意見   |
|----------|----------|--------|--|
| 隼人<br>地区 | 50 歳代    | 男性     | 民間へ委託することはいいことだと思いますが、質の低下、サービスの低下(コストだけに目がいってしまう)につながらないように、行政も任せきりにしないで、しっかりと指導等を行うべきだと思います。   |
|          | 60 歳代    | 男性     | あまり利用されていない施設もあつたり、そもそも知らない人がたくさんおりますので、市報等でもっと PR をするべき。また、指定管理者に任せただけの場合は、行政が口を出すべきではない。<br>委託・指定管理者の選択の時点だけではなく、その後も実態を見守り、評価していくことが重要だと思います。 |
|          |          | 女性     | コストの削減といって民間団体に任せきりになり、チェックがされないということが無いようにされると良い。税金が使用されるわけですから、市の職員も人数が多すぎです、考えてください。<br>積極的に進めた方が良いが、素人に委託してはいけない。                            |
|          | 福山<br>地区 | 70 歳以上 | 女性   |
| -        | 70 歳以上   | 男性     | 公共施設の温泉は廃止。利用者の少ないものは、利用者が運用するか廃止を利用者に決めさせる。どちらにも応じない場合は利用料金を大幅に上げる。   |

⑤ 市の施設の民間への委譲や既存の民間施設の利用について

市の施設の民間への委譲や既存の民間施設の利用について、「民間活力を積極的に活用した方が良い」と回答した人の割合が 55.8%で最も多い。次いで「民間活力を導入する施設は限定し、最小限にとどめた方が良い」が 23.9%、「公共施設に関することは民間に任せず、すべて市が行う方が良い」が 10.9%となっている。

属性別にみると、性別、年代別、居住地区別、家族構成別、職業別の全てで「民間活力を積極的に活用した方が良い」が最も多い。なお、年代別でみると、概ね年代層が低くなるほど、「民間活力を積極的に活用した方が良い」と回答した人の割合が多くなっている。

[市の施設の民間への委譲や既存の民間施設の利用について (N=599) ]



| No. | カテゴリ                          | 件数  | 構成比    |
|-----|-------------------------------|-----|--------|
| 1   | 民間活力を積極的に活用した方が良い             | 334 | 55.8%  |
| 2   | 民間活力を導入する施設は限定し、最小限にとどめた方が良い  | 143 | 23.9%  |
| 3   | 公共施設に関することは民間に任せず、すべて市が行う方が良い | 65  | 10.9%  |
| 4   | その他                           | 11  | 1.8%   |
|     | 無回答                           | 46  | 7.7%   |
|     | 合計                            | 599 | 100.0% |

[属性別 市の施設の民間への委譲や既存の民間施設の利用について]

| 区分    |                     | 合計            | 民間施設が活用された方が良い | 民間施設は限定し、最小限にとどめたい方がよい | 民間施設に関するものは、市民が行う方がよい | その他        | 無回答         |
|-------|---------------------|---------------|----------------|------------------------|-----------------------|------------|-------------|
| 全体    |                     | 599<br>100.0% | 334<br>55.8%   | 143<br>23.9%           | 65<br>10.9%           | 11<br>1.8% | 46<br>7.7%  |
| 性別    | 男性                  | 254<br>100.0% | 148<br>58.3%   | 49<br>19.3%            | 34<br>13.4%           | 1<br>0.4%  | 22<br>8.7%  |
|       | 女性                  | 340<br>100.0% | 184<br>54.1%   | 94<br>27.6%            | 29<br>8.5%            | 10<br>2.9% | 23<br>6.8%  |
| 年代別   | 20歳代                | 40<br>100.0%  | 29<br>72.5%    | 8<br>20.0%             | 2<br>5.0%             | 0<br>0.0%  | 1<br>2.5%   |
|       | 30歳代                | 64<br>100.0%  | 41<br>64.1%    | 16<br>25.0%            | 3<br>4.7%             | 2<br>3.1%  | 2<br>3.1%   |
|       | 40歳代                | 84<br>100.0%  | 53<br>63.1%    | 18<br>21.4%            | 11<br>13.1%           | 0<br>0.0%  | 2<br>2.4%   |
|       | 50歳代                | 136<br>100.0% | 81<br>59.6%    | 36<br>26.5%            | 7<br>5.1%             | 4<br>2.9%  | 8<br>5.9%   |
|       | 60歳代                | 158<br>100.0% | 85<br>53.8%    | 43<br>27.2%            | 11<br>7.0%            | 3<br>1.9%  | 16<br>10.1% |
|       | 70歳以上               | 116<br>100.0% | 45<br>38.8%    | 22<br>19.0%            | 30<br>25.9%           | 2<br>1.7%  | 17<br>14.7% |
| 居住地区別 | 国分地区                | 158<br>100.0% | 94<br>59.5%    | 43<br>27.2%            | 7<br>4.4%             | 4<br>2.5%  | 10<br>6.3%  |
|       | 溝辺地区                | 77<br>100.0%  | 39<br>50.6%    | 23<br>29.9%            | 11<br>14.3%           | 2<br>2.6%  | 2<br>2.6%   |
|       | 横川地区                | 54<br>100.0%  | 33<br>61.1%    | 10<br>18.5%            | 6<br>11.1%            | 1<br>1.9%  | 4<br>7.4%   |
|       | 牧園地区                | 72<br>100.0%  | 41<br>56.9%    | 13<br>18.1%            | 12<br>16.7%           | 1<br>1.4%  | 5<br>6.9%   |
|       | 霧島地区                | 75<br>100.0%  | 36<br>48.0%    | 18<br>24.0%            | 10<br>13.3%           | 1<br>1.3%  | 10<br>13.3% |
|       | 隼人地区                | 102<br>100.0% | 61<br>59.8%    | 20<br>19.6%            | 12<br>11.8%           | 2<br>2.0%  | 7<br>6.9%   |
|       | 福山地区                | 59<br>100.0%  | 29<br>49.2%    | 16<br>27.1%            | 6<br>10.2%            | 0<br>0.0%  | 8<br>13.6%  |
| 家族構成別 | 単身                  | 62<br>100.0%  | 35<br>56.5%    | 13<br>21.0%            | 9<br>14.5%            | 0<br>0.0%  | 5<br>8.1%   |
|       | 夫婦のみ                | 241<br>100.0% | 126<br>52.3%   | 51<br>21.2%            | 30<br>12.4%           | 2<br>0.8%  | 32<br>13.3% |
|       | 2世代(年齢が最も低い子が中学生以下) | 89<br>100.0%  | 56<br>62.9%    | 22<br>24.7%            | 7<br>7.9%             | 2<br>2.2%  | 2<br>2.2%   |
|       | 2世代(年齢が最も低い子が高校生以上) | 152<br>100.0% | 87<br>57.2%    | 39<br>25.7%            | 14<br>9.2%            | 6<br>3.9%  | 6<br>3.9%   |
|       | 3世代以上               | 32<br>100.0%  | 21<br>65.6%    | 9<br>28.1%             | 1<br>3.1%             | 1<br>3.1%  | 0<br>0.0%   |
| 職業別   | 自営業                 | 98<br>100.0%  | 44<br>44.9%    | 24<br>24.5%            | 16<br>16.3%           | 3<br>3.1%  | 11<br>11.2% |
|       | 勤め人(会社員、公務員等)       | 251<br>100.0% | 151<br>60.2%   | 65<br>25.9%            | 18<br>7.2%            | 4<br>1.6%  | 13<br>5.2%  |
|       | 専業主婦・主夫             | 95<br>100.0%  | 57<br>60.0%    | 24<br>25.3%            | 7<br>7.4%             | 2<br>2.1%  | 5<br>5.3%   |
|       | 学生                  | 5<br>100.0%   | 5<br>100.0%    | 0<br>0.0%              | 0<br>0.0%             | 0<br>0.0%  | 0<br>0.0%   |
|       | 無職                  | 144<br>100.0% | 74<br>51.4%    | 29<br>20.1%            | 22<br>15.3%           | 2<br>1.4%  | 17<br>11.8% |

[市の施設の民間への委譲や既存の民間施設の利用について その他の意見]

| 居住地区 | 年代     | 性別 | 自由意見   |
|------|--------|----|--|
| 国分地区 | 20 歳代  | 女性 | 民間活力を積極的に活用したほうが良いが、初めは施設を限定して試験的にを行い、それからでも良いのではと思う。  |
|      | 30 歳代  | 男性 | 民間を活用すればいいと思うが、スポーツ施設等を使用する時の使用料などは公的な場合(例えば公民会でのスポーツ大会等)では市から使用料の助成があるようにしてはどうか？  |
|      |        | 女性 | 税金を無駄に使ってほしくない。  |
|      | 50 歳代  | 男性 | 活性化するためにも、民間のアイデアを活かしたほうが良いと思います。<br>市営住宅が廃止されたり、家賃が上がったり、弱者への影響も心配されるところである。  |
|      |        | 女性 | 勘違い等、事故のないように注意し、民間のアイデアや力を活用してほしいです。<br>民間に任せることにより、公の目、意識がそこへ向かわなくなることが起こってくるかもしれないと思います。決定にあたっては、よく考え、協議し、上質の結論を出してからにしてほしいものです。「公共」の意識は保持していかなくてはならないのではないのでしょうか。  |
|      | 60 歳代  | 女性 | 競争力を高めたり、互いに交流や回遊が可能になるような広報も必要。<br>省エネモデル住宅の目的が分からない。各ハウスメーカーが最先端の技術で設備などユーザーの欲しているものを提供していますので、公共施設として何の必要性もないと思います。すぐに時代遅れになるような無駄なハコモノは維持費・人件費の無駄を生むだけです。ぜひ経緯を公表してください。<br>本当に必要な施設かどうか、赤字経営のところは見直してほしい。ハコモノをどんどん作っていくのは、もう流行らない。 |
|      |        |    | 70 歳以上   |
| 溝辺地区 | 60 歳代  | 女性 | 利用したことがないのでわからない(意見できない)。  |
| 横川地区 | 30 歳代  | 女性 | 廃止されたり統合されることによって遠くの施設を利用せざるを得ない状況になると困る点が出てくると思います。   |
|      | 70 歳以上 | 男性 | 民間団体の創意工夫、市民へのサービスなど、もっとPRを。人集めが不足。  |
| 牧園地区 | 40 歳代  | 女性 | 賛成ですが、あまり民間色が強くなりすぎて、あるところの桜の花見のとき、今までお金(場所代)を取らなかったところでお金を取ったことで、お花見が大分少なくなったところもあり、未だに評判が悪いところがある。   |
|      | 60 歳代  | 女性 | 横川のプールは、高齢者が体力づくりのために使うのには高い。利用券なりで軽くしてもらおうとありがたい。<br>全てにおいて考えを変えてください。人選をしっかりとってください。<br>民間に任せることは公共施設とは言えないと思います。利用する回数も少なくなってしまうです。<br>民間事業者に委譲したとしても何も変わらないため。   |
|      |        |    | 霧島地区   |
| 隼人地区 | 40 歳代  | 男性 | 公契約条例を作成して全て委託。市役所でサービス業は無理。<br>役所仕事な考え方は一番先に捨ててください。  |
|      | 50 歳代  | 男性 | サービス・質が下がらないように、しっかりと業務を行うことを契約等に入れ込み、今まで以上に市民が使用できるようにお願いしたいです。<br>同じような施設は無駄なので、減らすことが妥当。  |
|      |        | 女性 | 賃貸住宅以外は、民間事業者で良いのではないかと思います。<br>民間ではできそうにない施設は市が行い、民間の活用により市民がよりよく利用できる方向で考えてください。   |
|      | 60 歳代  | 女性 | 民間活力を積極的に活用した方が良いが、素人に委託してはいけない。   |
|      | 70 歳以上 | 女性 | 無駄を省いて民間活力を導入するのは良いと思うが、災害の際に避難先として使えるように、公と民間で協力してほしい。  |

#### 4. 用語集

|   |                     |  |
|---|---------------------|--|
| あ | インフラ                | インフラストラクチャー(infra-structure)の略。都市における生活や経済活動を支える基盤の総称であり、公営住宅や学校などの公共建物のほか、道路・橋りょうなどの交通施設や公園、上下水道などの施設の総称。                     |
|   | LCC                 | Life Cycle Cost の略。建物の企画設計段階、建設段階、運用管理段階、および廃棄処分段階における関連費用の総計。   |
|   | NPO                 | Non Profit Organization 又は Not for Profit Organization の略。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称。                         |
|   | オーナー制度              | 公共施設等の一部に対して市民や企業等から寄付や出資を募り、維持・運営・管理費等に充てることで持続的な管理・持続的な管理・運営を行っていく手法。  |
| か | 義務的経費               | 人件費、扶助費、公債費を合わせた費用。  |
|   | 圏域                  | 限られた一定の範囲のことであり、ここでは、本編で定義しているように、地区、地区自治公民館区、市街地および中山間地域を指す。  |
|   | 公共施設マネジメント          | 地方公共団体等が保有し、又は借り上げている全公共施設を、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組み。  |
|   | コミュニティ              | 一定の地域内に居住する人々の集団、地域社会等を示しており、本計画においては、自治会や地区自治公民館区などを含めた幅広い地域社会のこと。  |
|   | コンセッション方式           | 施設の所有権を移転せず、民間事業者による事業運営に関する権利を長期間にわたって付与する方式。   |
| さ | 事後保全                | 構造物や建築物の損傷が顕在化した後に損傷箇所の補修・修理を行って復帰させる管理手法。   |
|   | 自主財源                | 地方公共団体が自主的に収入することができる財源。具体的には、市民税・使用料・手数料・財産収入など。  |
|   | 指定管理者制度             | 従来、自治体や外郭団体に制限されていた一部の公共施設の管理運営に、株式会社や NPO といった民間事業者も参入できる制度。  |
| た | 大規模改修               | 経年劣化による修繕に併せ、建築当初の機能・性能を向上させる工事。   |
|   | 多機能化                | 一つの建物の中に複数の異なる機能などを持たせること。   |
|   | 地方交付税(普通交付税)        | 普通交付税および特別交付税の2種類がある。<br>ここでは、全ての自治体が一定水準の行政サービスを行うため、基準財政需要額と基準財政収入額の差額(財源不足額)を基本として交付される普通交付税のことを指す。                         |
|   | 長寿命化                | 適正な維持保全により、建物の性能、機能を確保し、建物寿命を永らえさせること。   |
|   | 適正規模(小中学校の学級数の適正規模) | 「学校教育法施行規則」において、学級数の標準は小・中学校ともに 12 学級から 18 学級、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令においては、適正な学校規模の条件の一つとして、学級数が概ね 12 学級から 18 学級までと規定している。 |
|   | デマンド交通              | 利用者の要望(デマンド)に応じ、その都度運行経路や時刻を決定する運行手段。  |

|   |          |   |
|---|----------|---|
|   | 投資的経費    | その支出の効果が資本の形成のためのものであり、将来に残る施設等を整備するための経費。普通建設事業費など。  |
|   | トータルコスト  | 行政サービスを提供するために、施設の維持や管理等にかかる費用(人件費、事業費、光熱水費、修繕費等)の総計。   |
| な | ネーミングライツ | 市と民間企業等との契約により、市の公共施設等に「愛称」として団体名・商品名等を付与する代わりに、企業等の側から対価等を得るものです。施設の改修費等に充てることで持続的な管理・運営等を行っていく手法。 |
| は | PFI      | Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用し、効率的かつ効果的に行う手法。                 |
|   | PPP      | Public-Private Partnership の略。官民協働。アウトソーシングなどを含めた公共と民間のパートナーシップによる公共サービスの提供手法の総称。                   |
|   | 複合化      | 複数の異なる目的の施設を一つの建物に集めること。  |
|   | 複合施設     | 一つの建物の中に複数の異なる機能などを持つ施設のこと。   |
|   | 扶助費      | 社会保障制度の一環として、現金や物品などで支給される費用。生活保護法・児童福祉法・老人福祉法などの法令に基づくもののほか、市の施策として行うものも含まれる。                      |
|   | 包括委託     | 施設の維持管理や運営業務を複数施設あるいは複数業務を一括して民間事業者に委託する方式。   |
| ま | メッシュ     | 地図を緯度経度に基づき、基盤の目のように縦横に線をいれて地域を網の目(メッシュ)に分けたもの  |
| や | 予防保全     | 建築等の部分あるいは部品に不具合・故障が生じる前に、部分あるいは部品を修繕もしくは交換し、性能・機能を所定の状態に維持する保全の方法。                                 |
| ら | リノベーション  | 既存施設を大規模に改修し、用途変更や機能拡張等の高度化を図り施設に対して新しい価値を加えること。  |
| わ | ワークショップ  | 立場や経験の異なる参加者が、共同作業を通じ、お互いの考えや立場を学び合いながら、知恵や創意工夫により意見をまとめていく手法。                                      |